



1. (184-5)



2. (184-10)



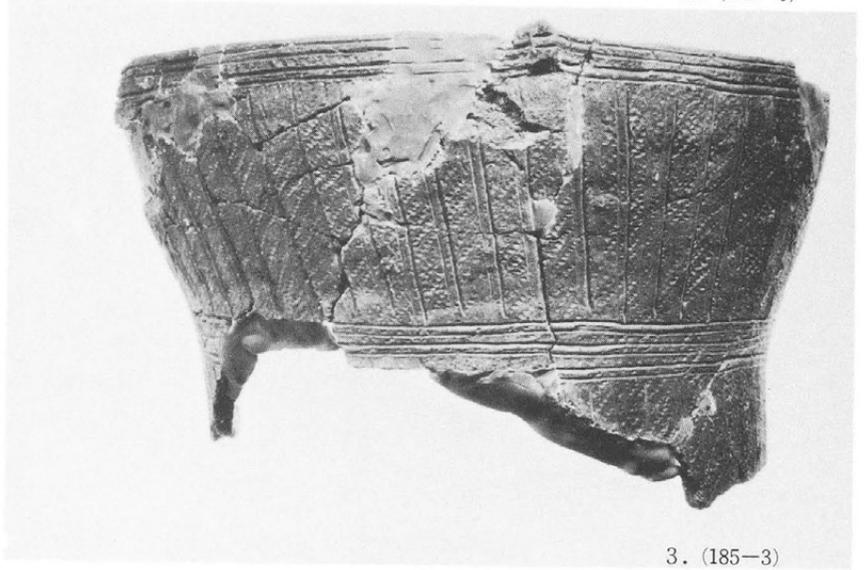
3. (184・153・146)



1. (185-1)



2. (185-6)



3. (185-3)



4. (185-8)

1・2 (1:4)

他(1:3)



1. (190-1)



2. (188-5)



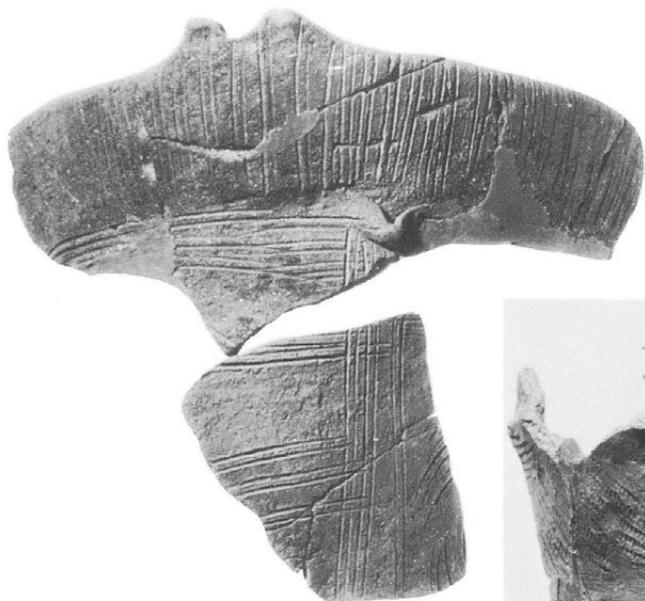
3. (188-4)



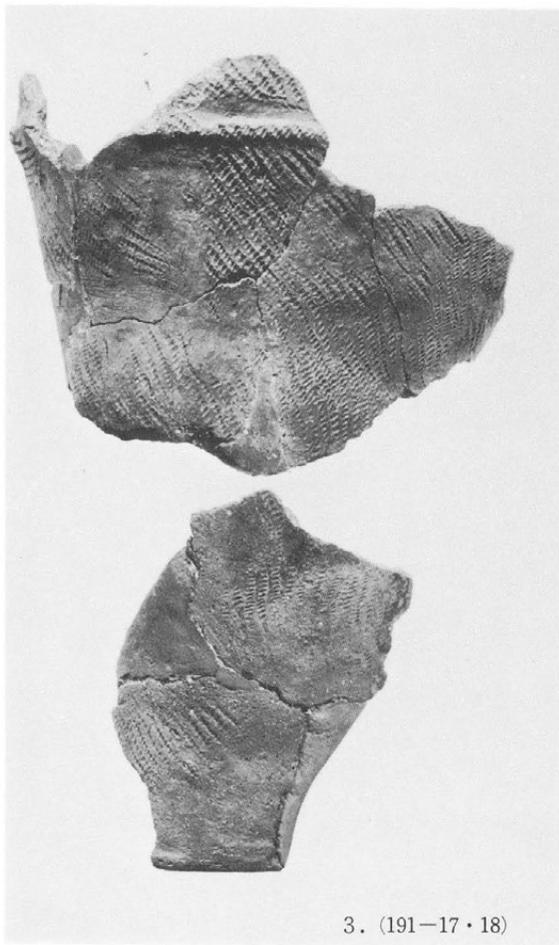
4. (188-2)



5. (190-3)



1. (191-11)



3. (191-17・18)



2. (191-13)



4. (191-16)

1・2・4・6(1:3)

3・5(1:2)



1. (193-19)



2. (193-20)



3. (194-7)



4. (194-3)



5. (194-1部分)



6. (196-6)



1. (197-1)



2. (196-2)



3. (197-3)



4. (197-2)

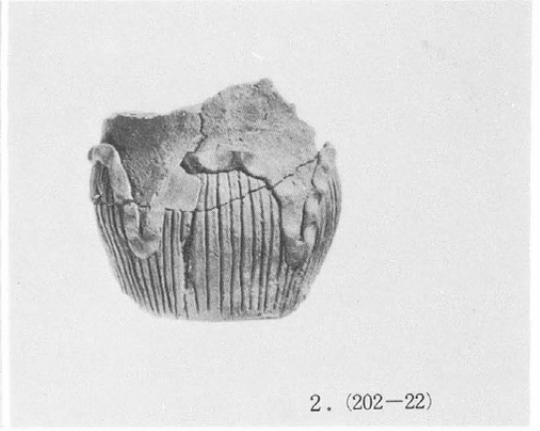
1 (1 : 4)

2 (1 : 3)





1. (202-21)



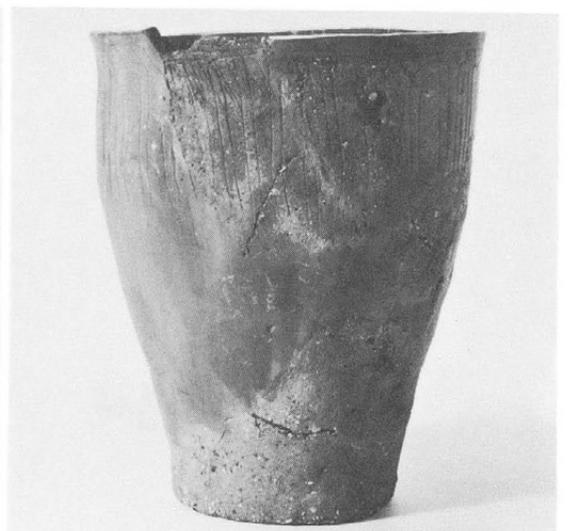
2. (202-22)



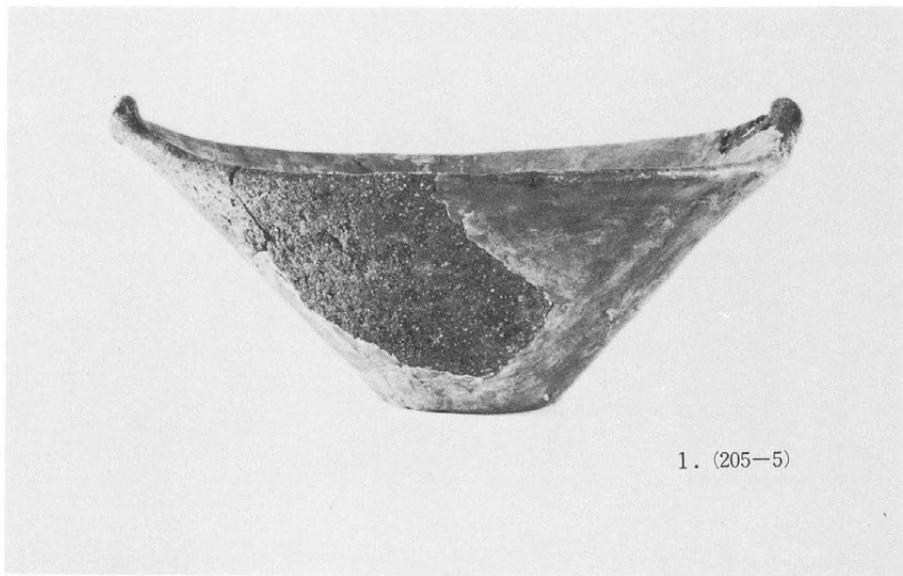
3. (203-10)



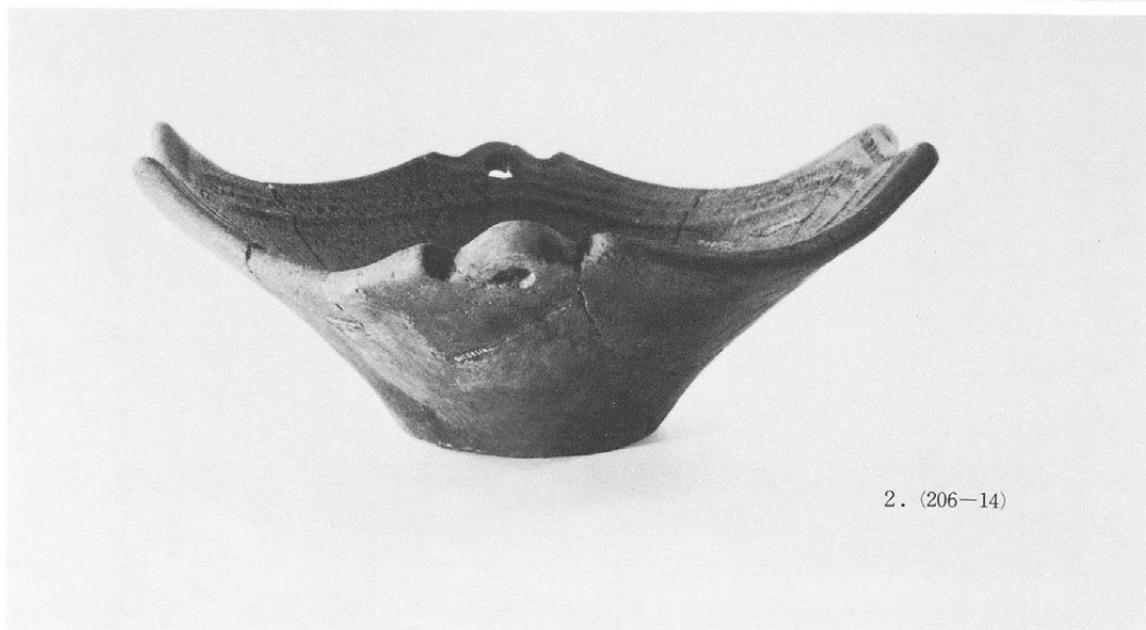
4. (203-7)



5. (203-12)



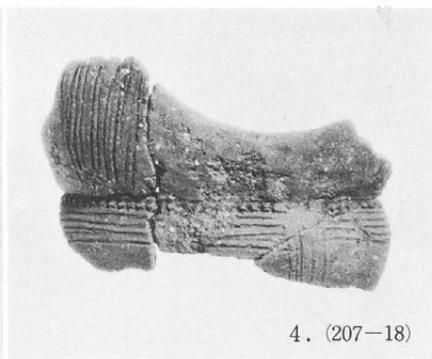
1. (205-5)



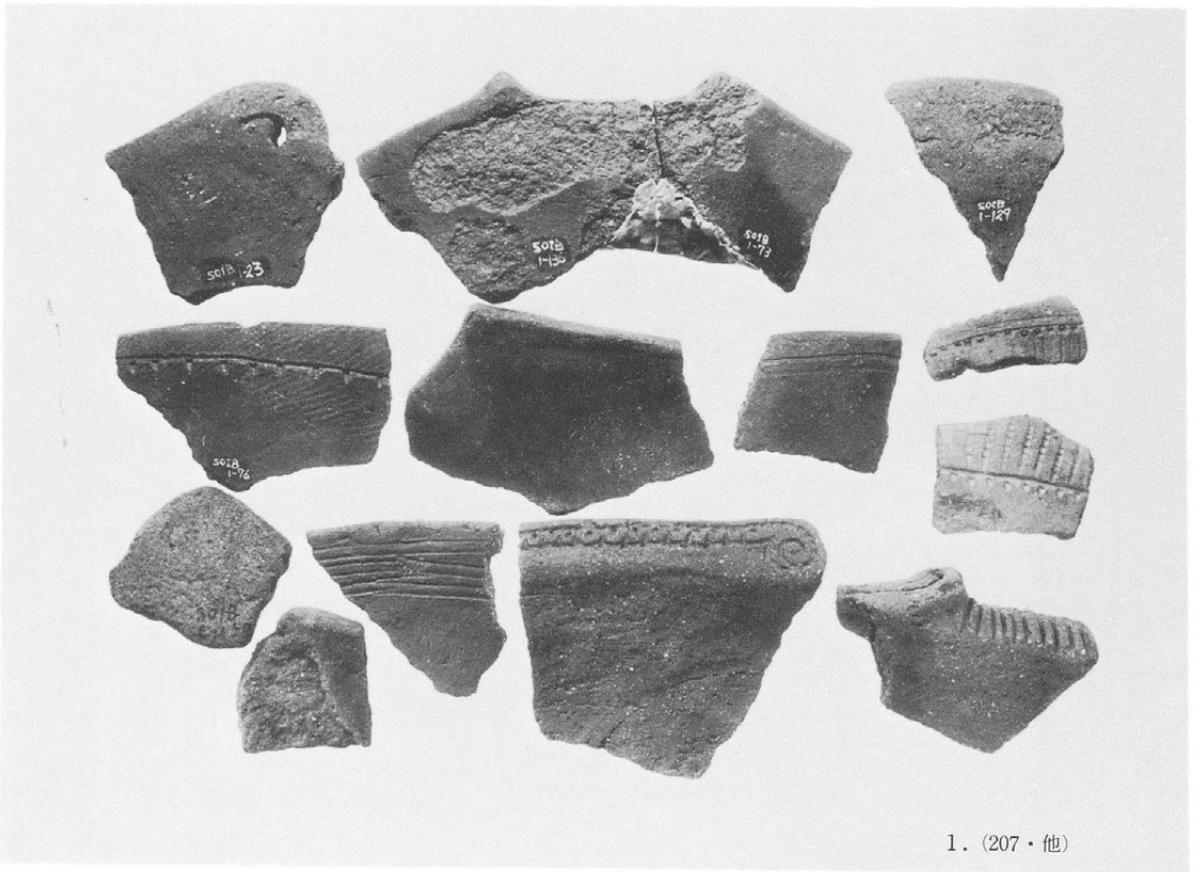
2. (206-14)



3. (207-14)



4. (207-18)



1. (207・他)



2. (1裏面)

1. 土坑570
2. 土坑25
- 3.・4.土坑56
- 5.土坑69



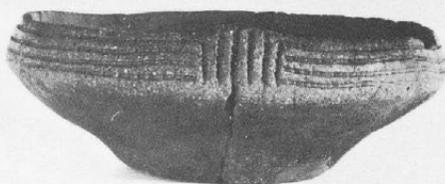
1. (209-16)



2. (210-20)



3. (211-10)

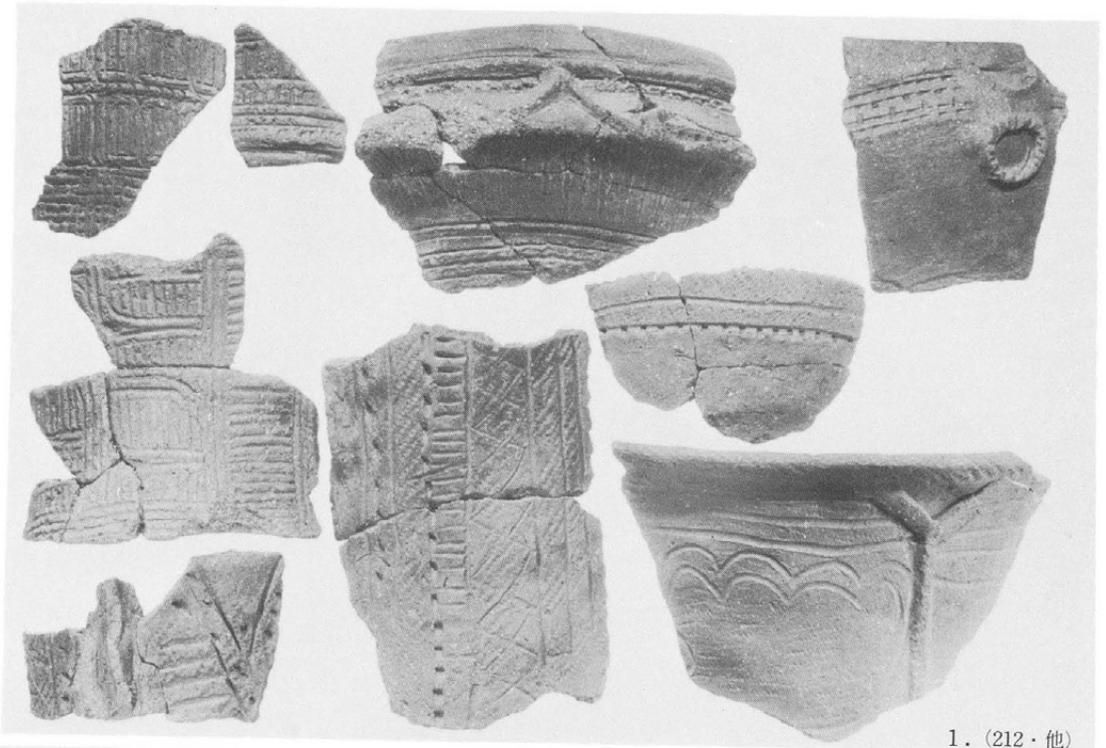


4. (211-11)

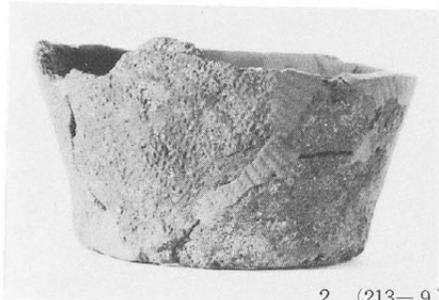


5. (212-10)

2. 土坑104 3. 土坑109 4・5. 土坑152 6. 土坑207



1. (212・他)



2. (213-9)



3. (213-11)



4. (213-25)



5



6. (214-5)



1. (214-1)



2. (217-1)



3. (217-11)



4. (215-4)



5. (218-4)

1. 土坑201
2. 土坑429
3. 土坑449
4. 土坑308
5. 土坑485

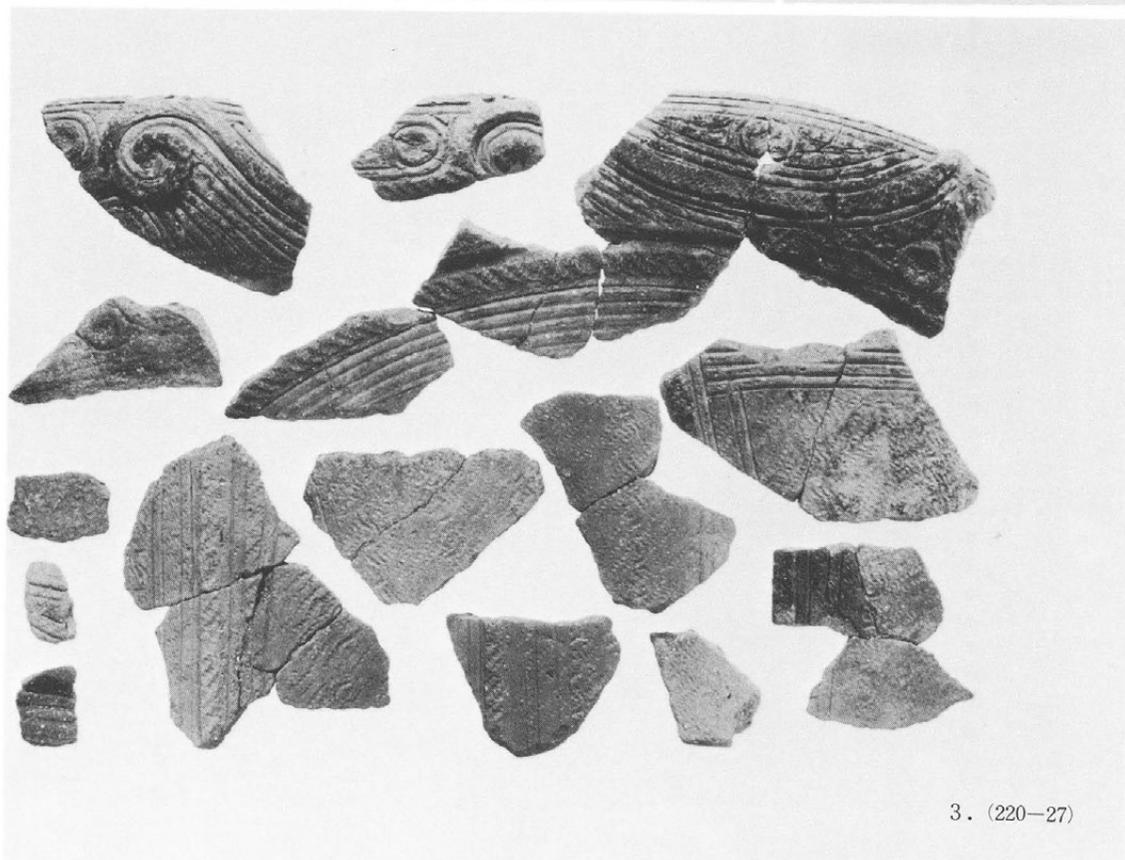


1. (219-2)



2. (219-11)

1. 土坑587
2. 土坑614
3. 土坑774



3. (220-27)

1.・2. 土坑848

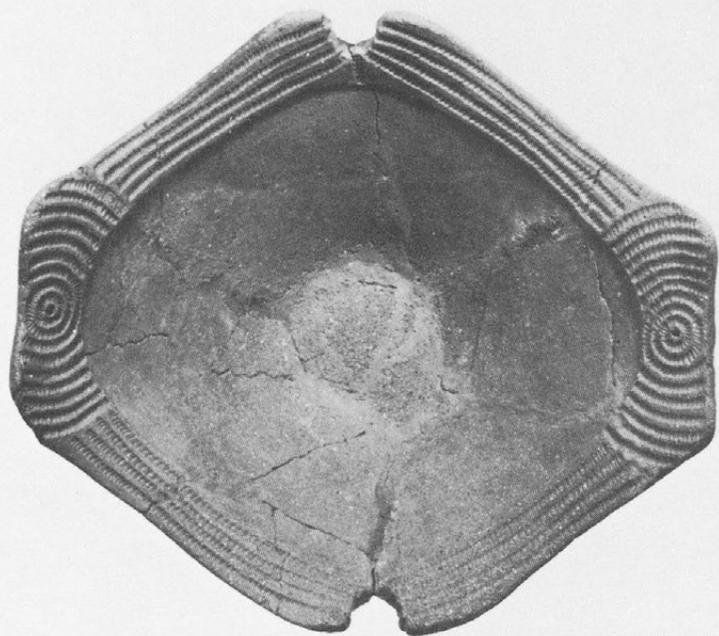
3.・5. 土坑855

4. 土坑873

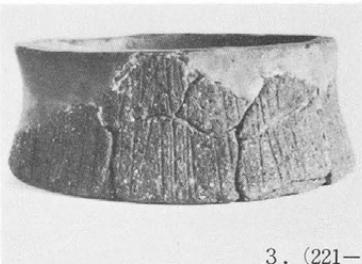
6. 土坑920



1. (221-9)



2. (221-10)



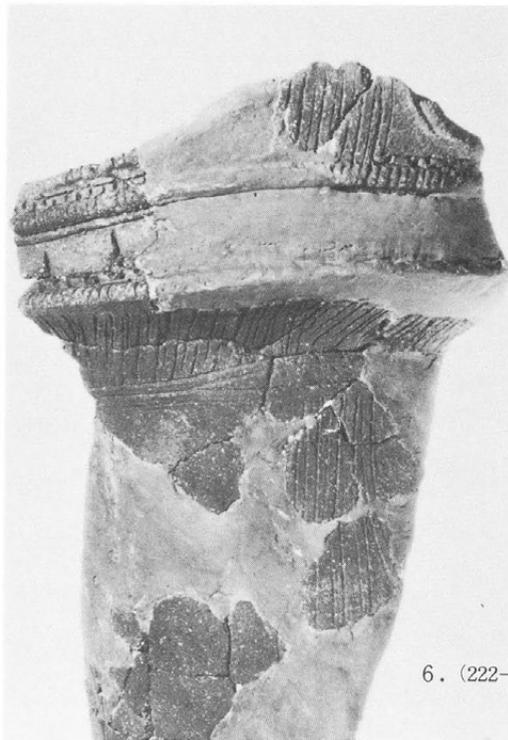
3. (221-12)



4. (221-21)



5. (221-13)



6. (222-9)

2(1:4)

他(1:3)

1. 土坑130 2. 土坑429
3. 土坑46 4. 土坑135
5. 土坑1001 6. 土坑837



1. (228-8)



2. (226-31)



3. (227-2)



4. (228-10)



6. (230-20)



5. (232-31)

1・3・5 (1:3)

2 (1:2)

4 (1:4)



1. (222-5)



2. (223-1)



3. (223-3)



4. (225-20)



5. (226-1)

1. 土坑884

2.3. 土坑952

4.土坑1157

5. 土坑1186



1. (233-32)



2. (229-14)

1. 土坑1150
2. 土坑283
3. 土坑890
4. 土坑1261



3. (234-17)



4. (234-3)

1・2 (1:4)

3. (1:3)



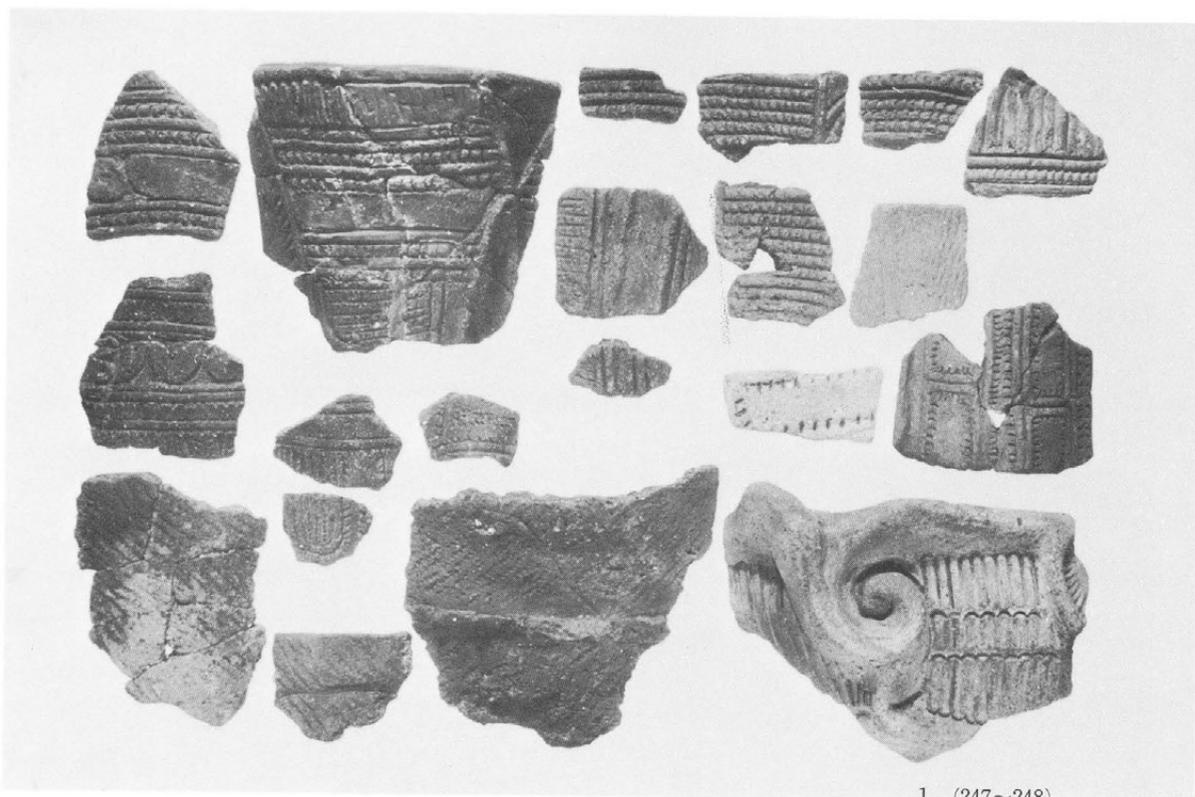
1. (247-1)



2. (248-12)



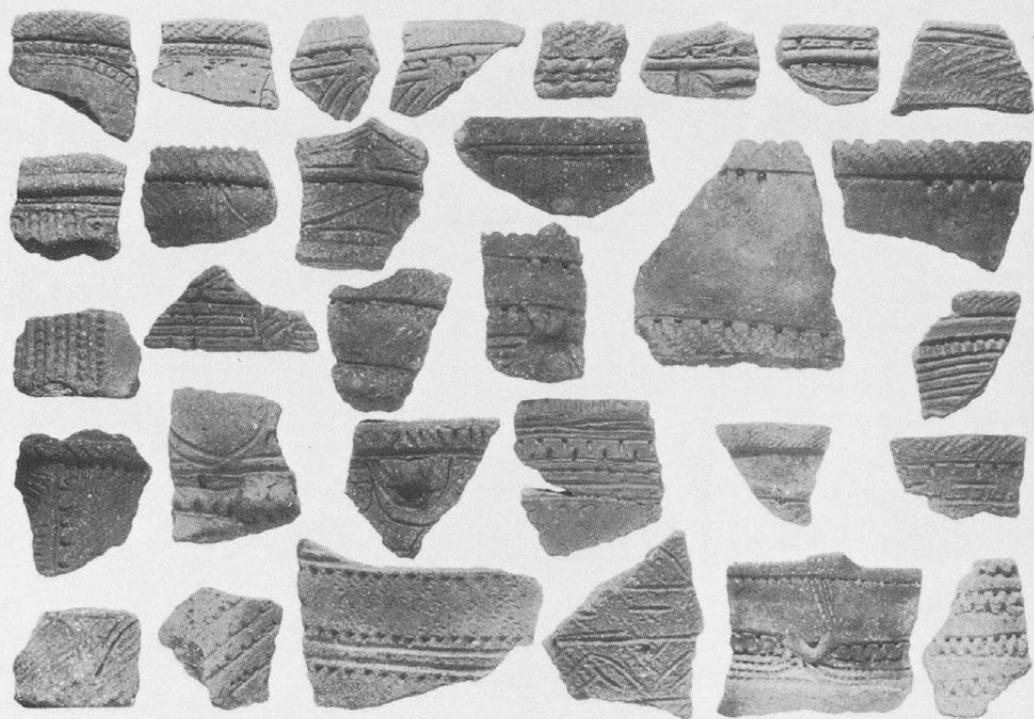
3. (247-7)



1. (247~248)



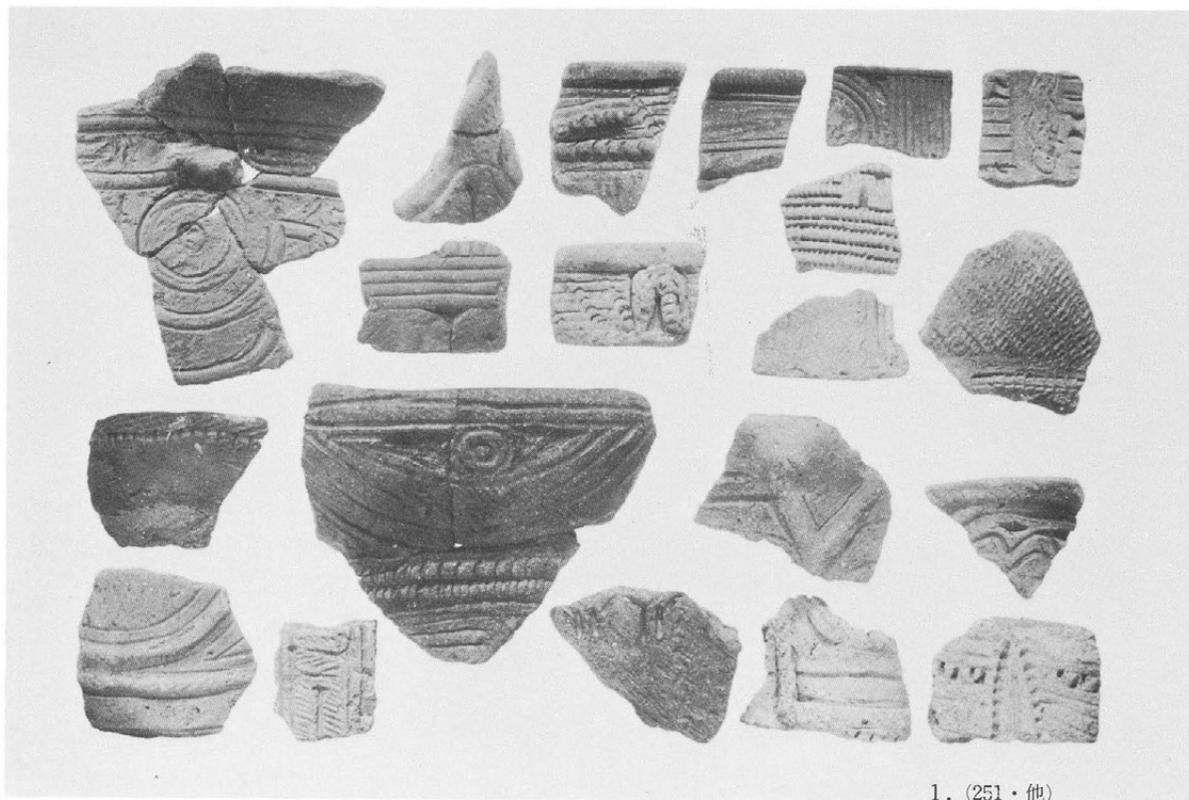
2. (248~250)



1. (251・他)



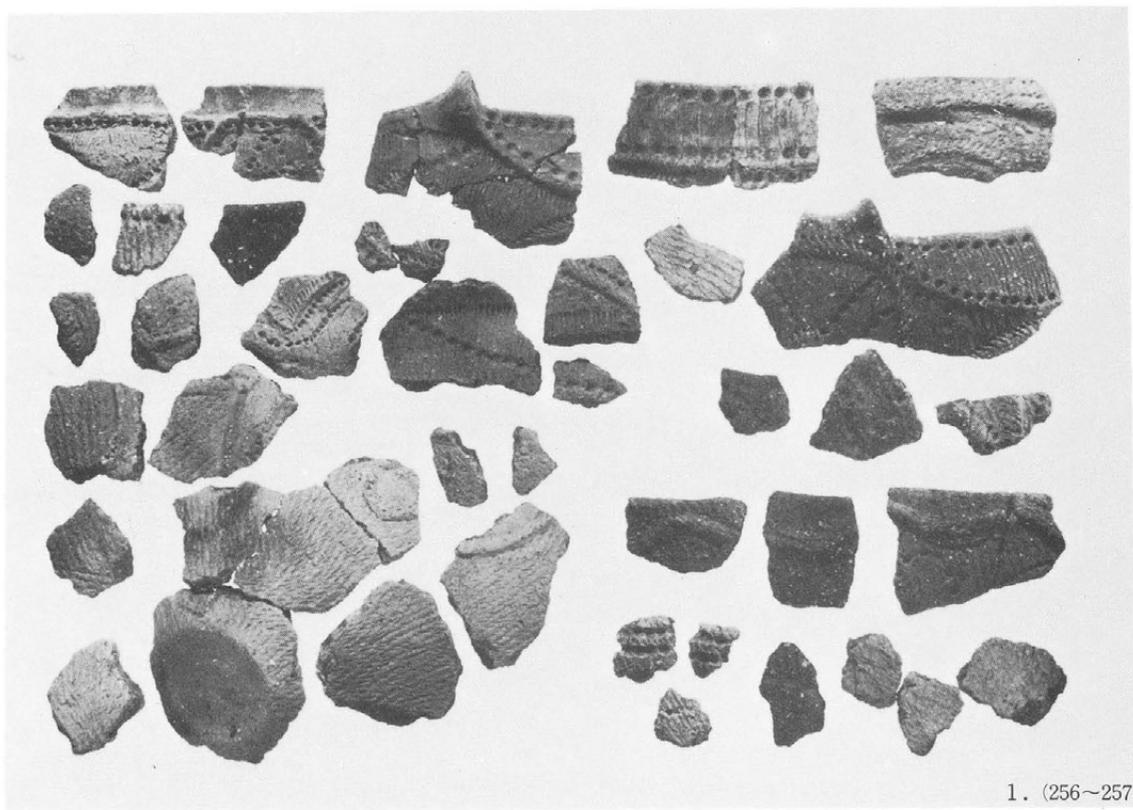
2. (250・他)



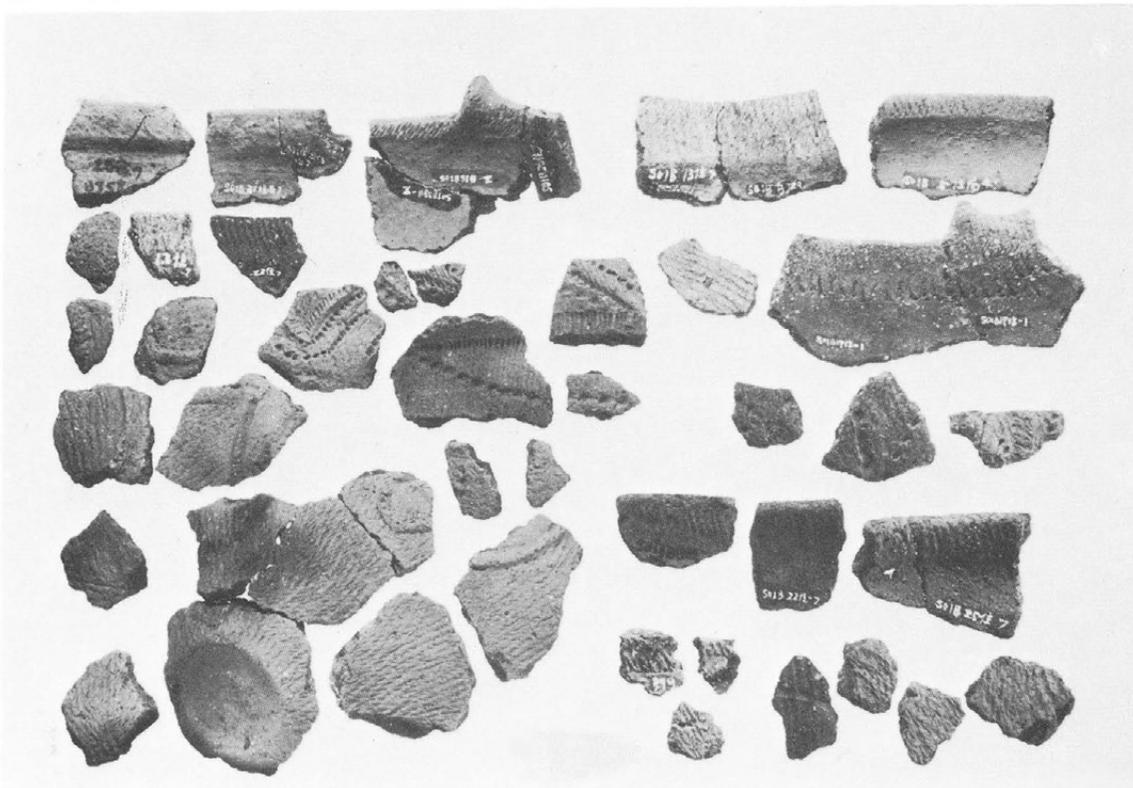
1. (251・他)



2. (252・他)

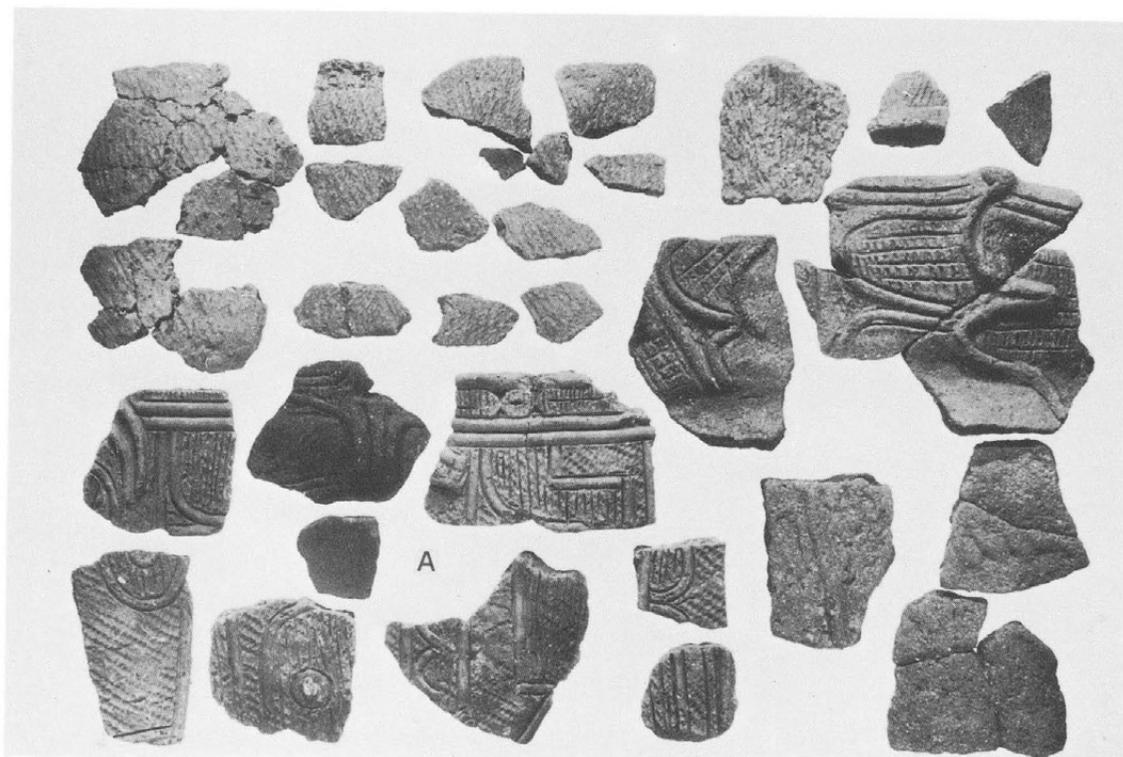


1. (256~257)



2. (1裏面)

(A、土城201 B、5号住居址 C、36号住居址 D、2号住居址)

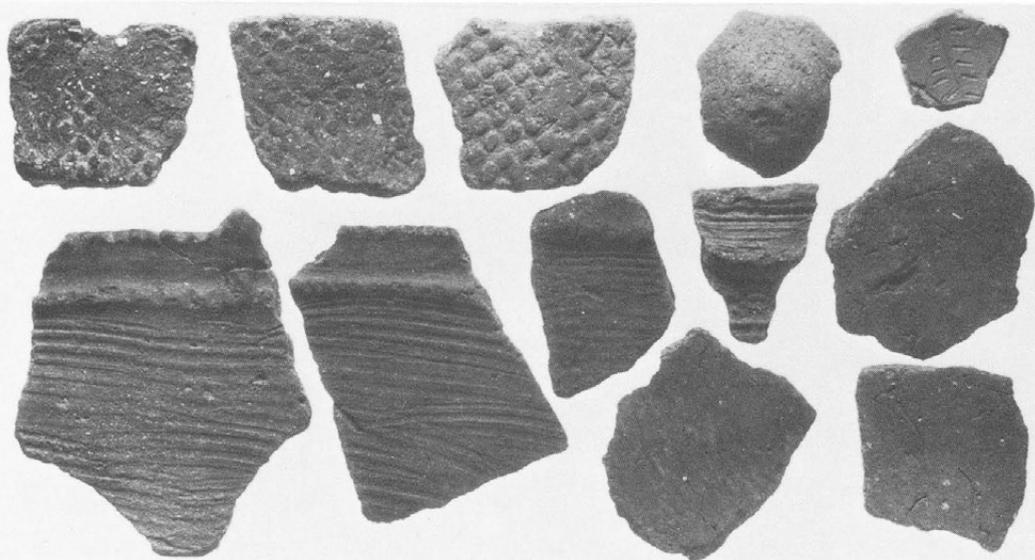


1. (257~258)

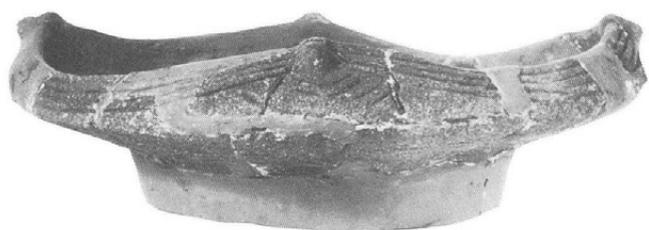


2. (258)

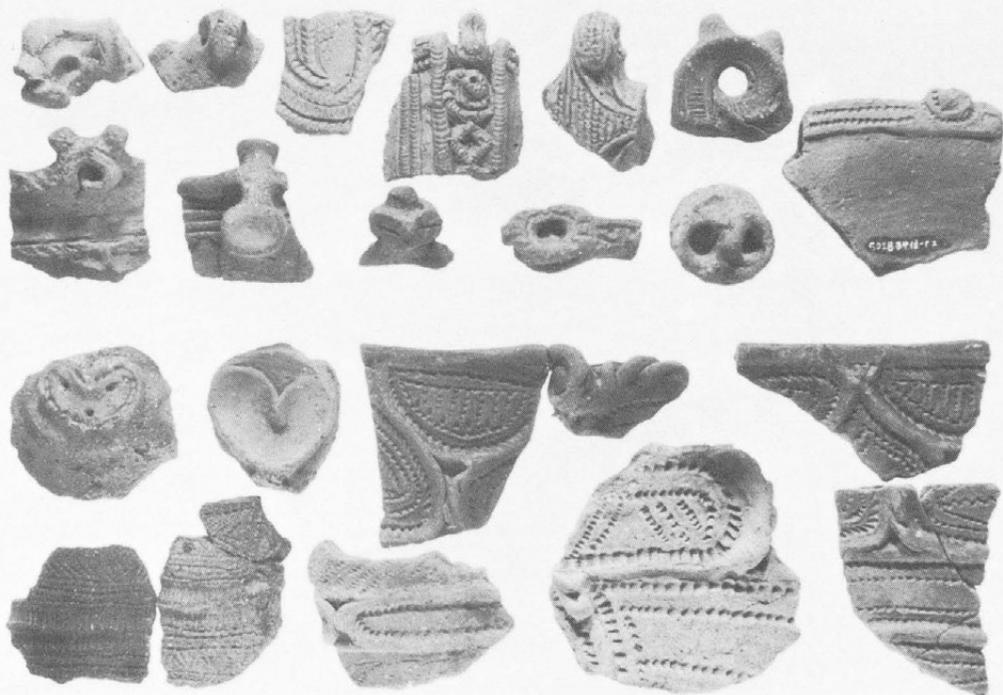
2・39号住居址



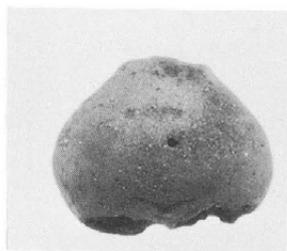
1. (261・他)



2. (265-12)

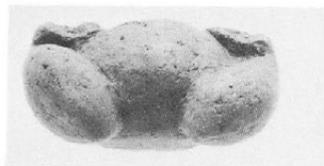
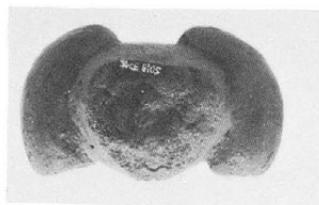


3. (266・他)



1. (266-6)
29号住居址

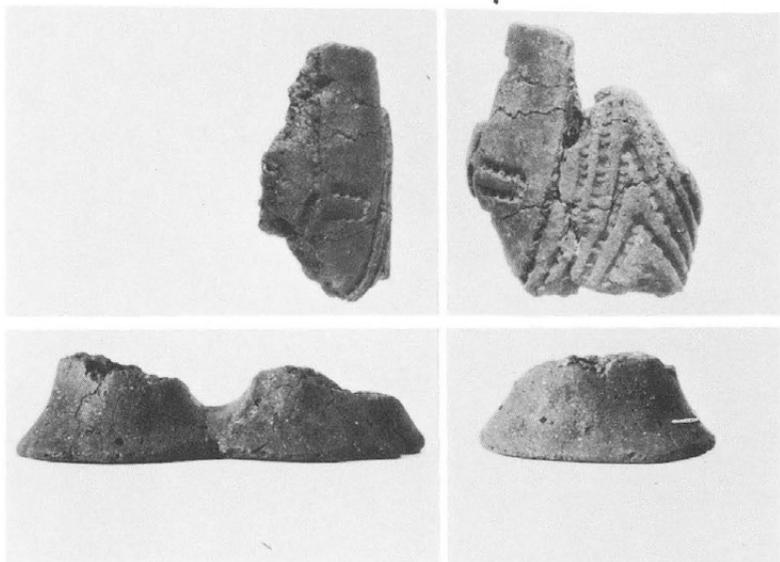
2. (267-7) 遺構外



3. (266-7) 30号住居址



4. (267-8) 21号住居址



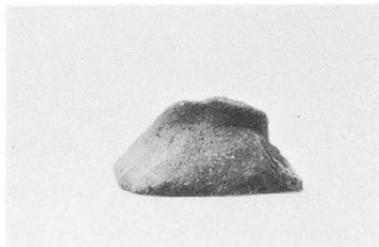
1. (268-3) 21号住居址



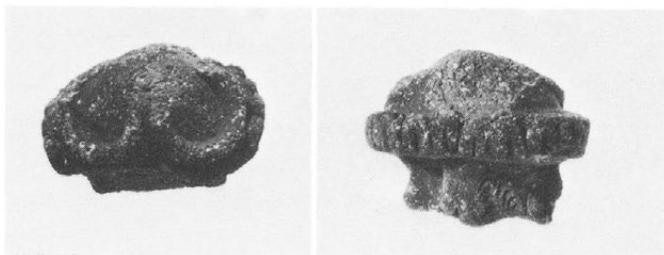
2. (268-2) 16号住居址



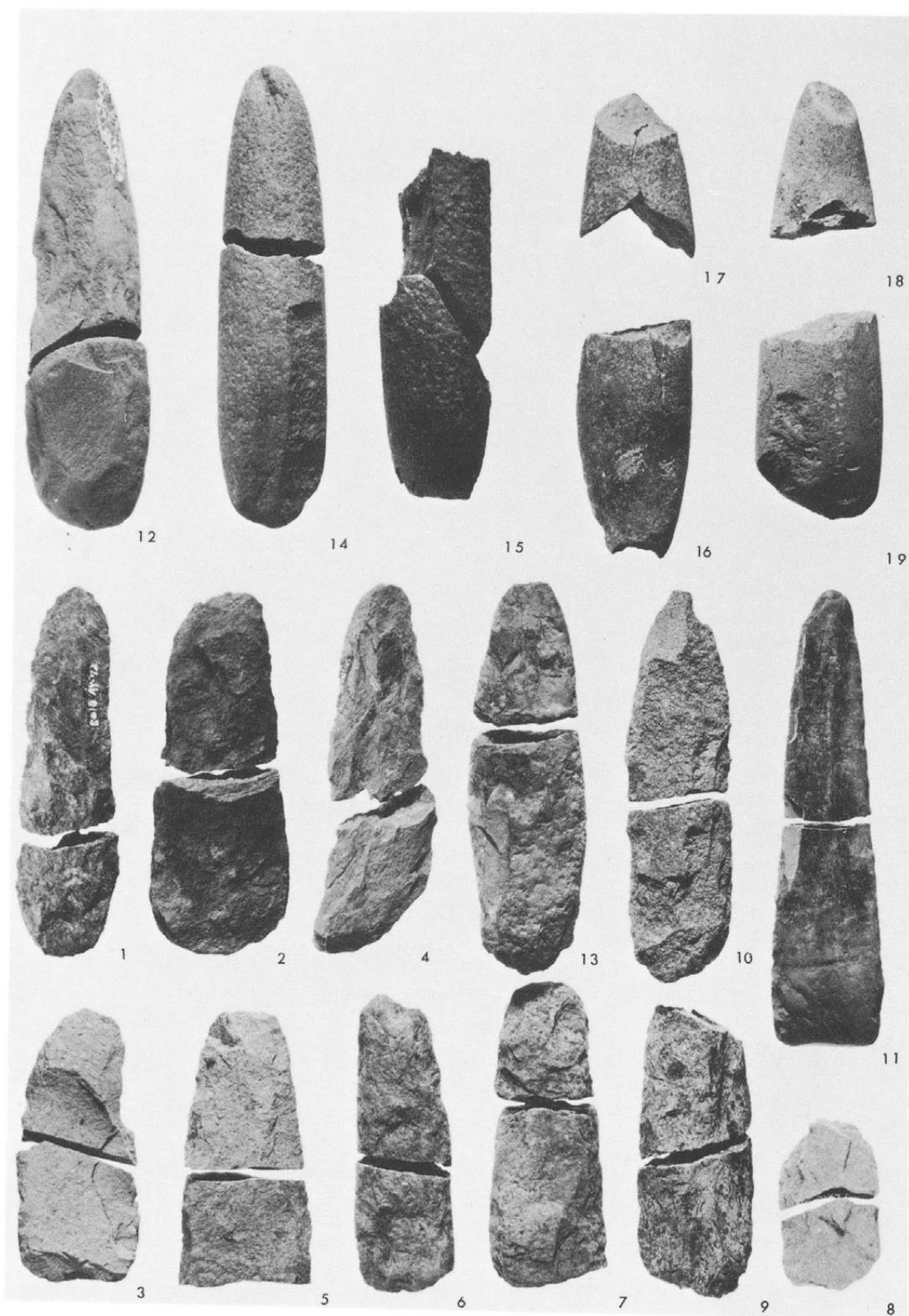
3. (268-5) 遺構所 遺構外



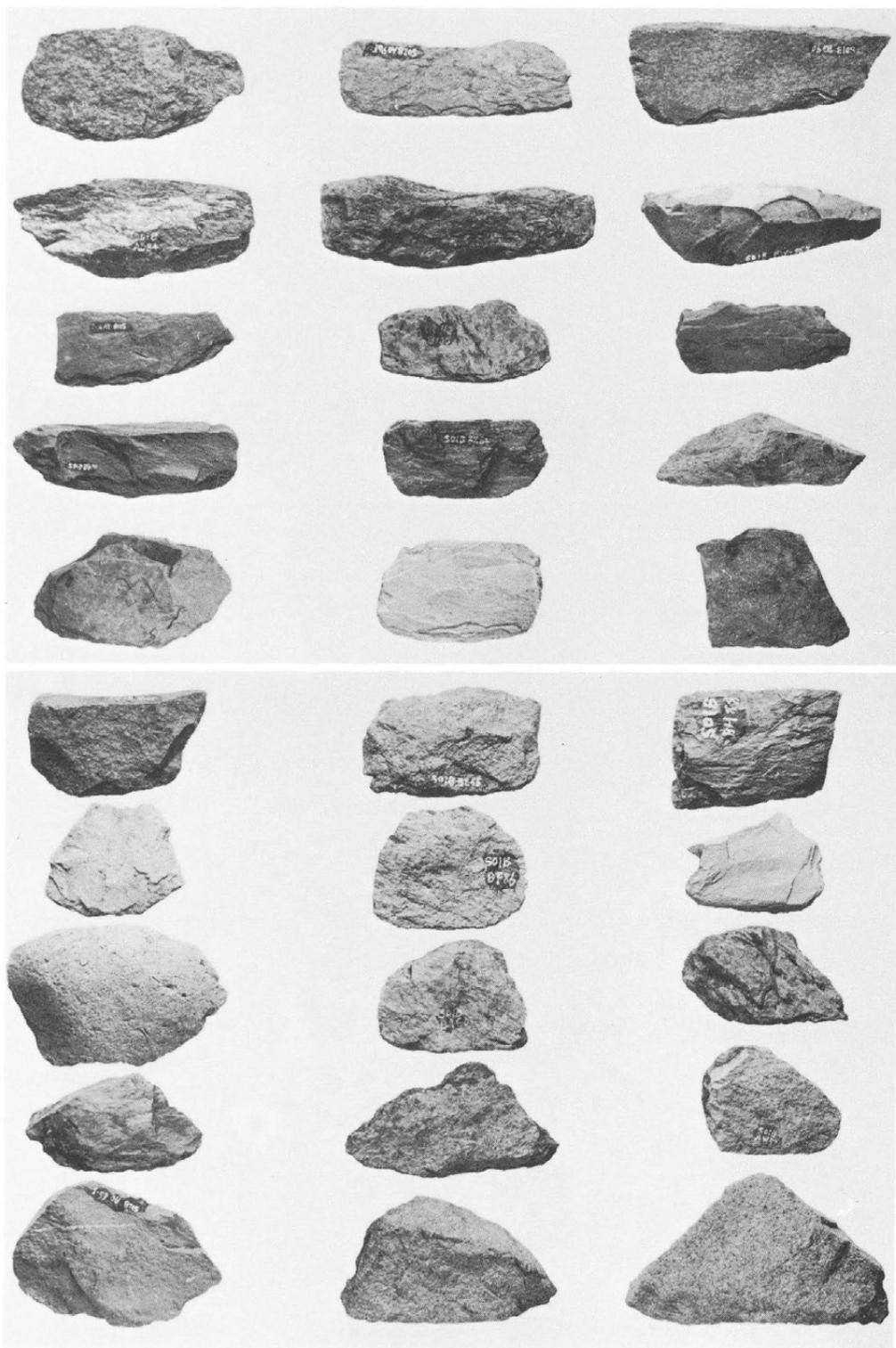
4. (268-6) 遺構外

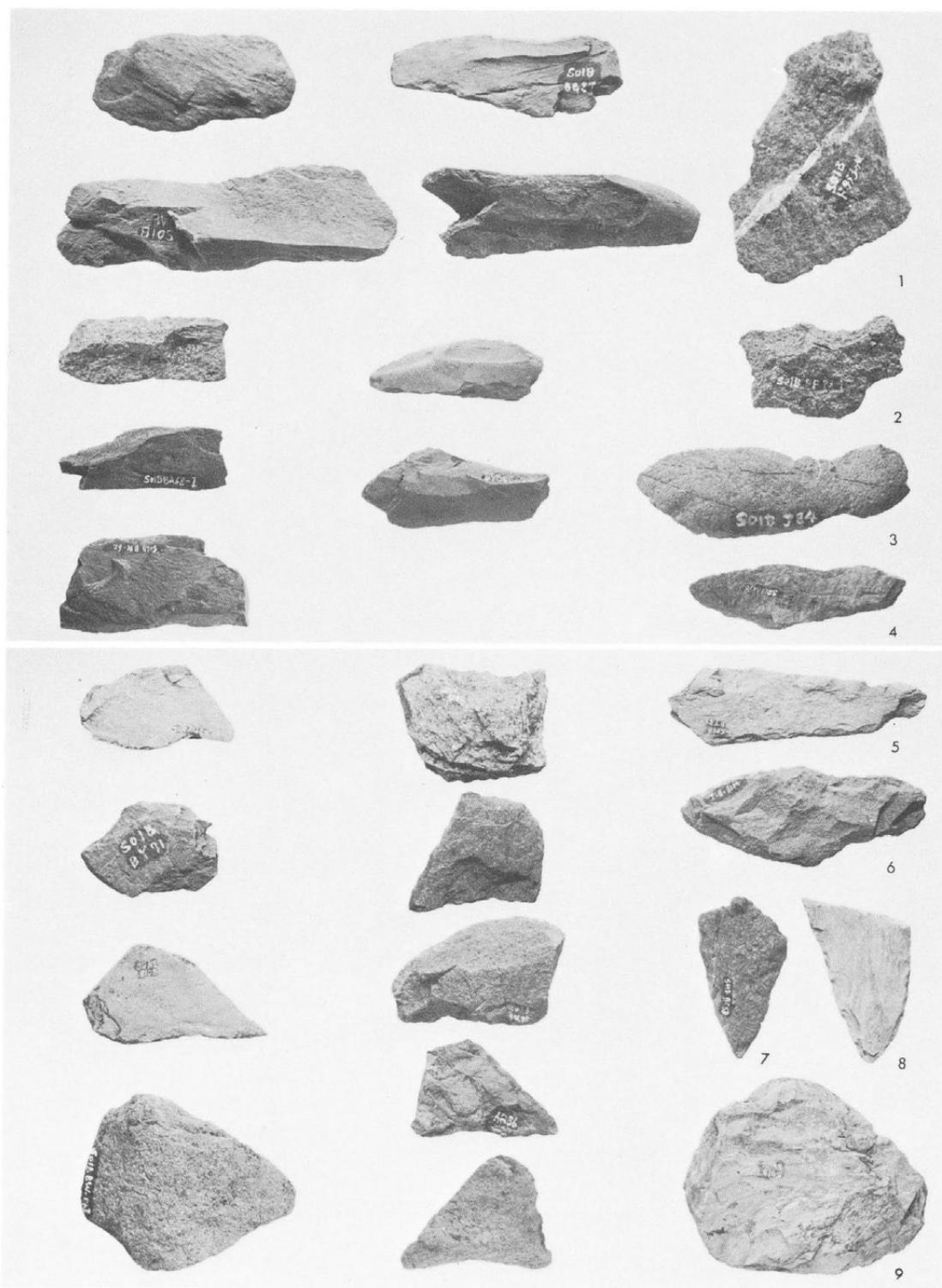


5. (267-5) 20号住居址

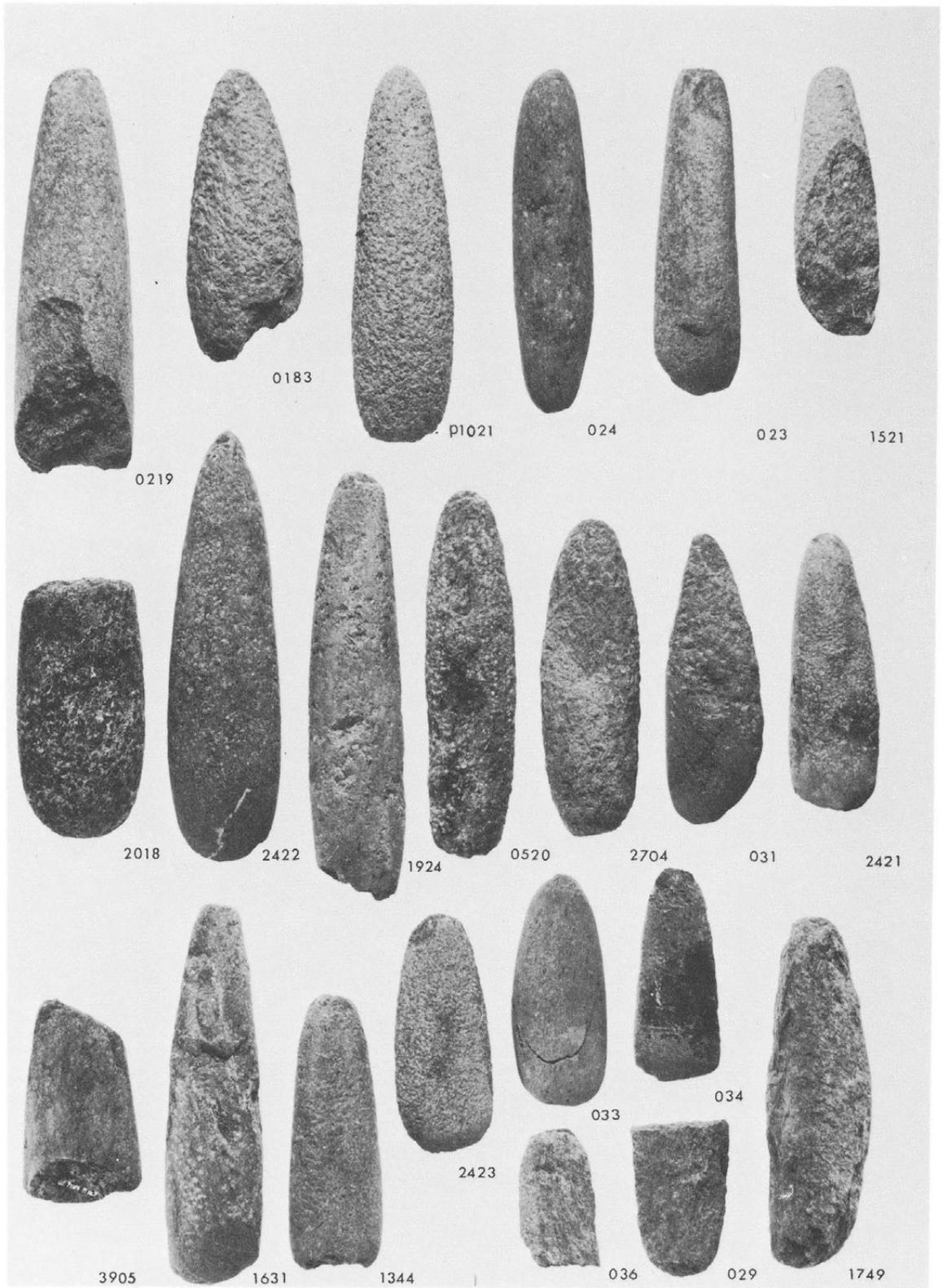


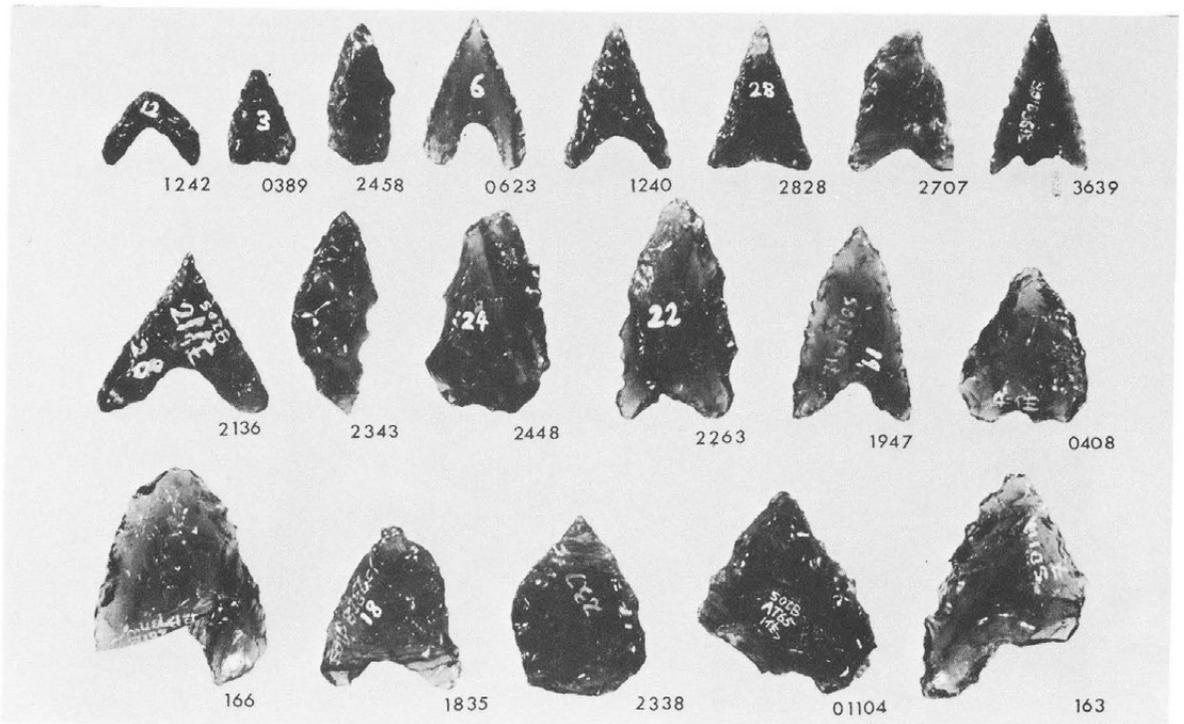
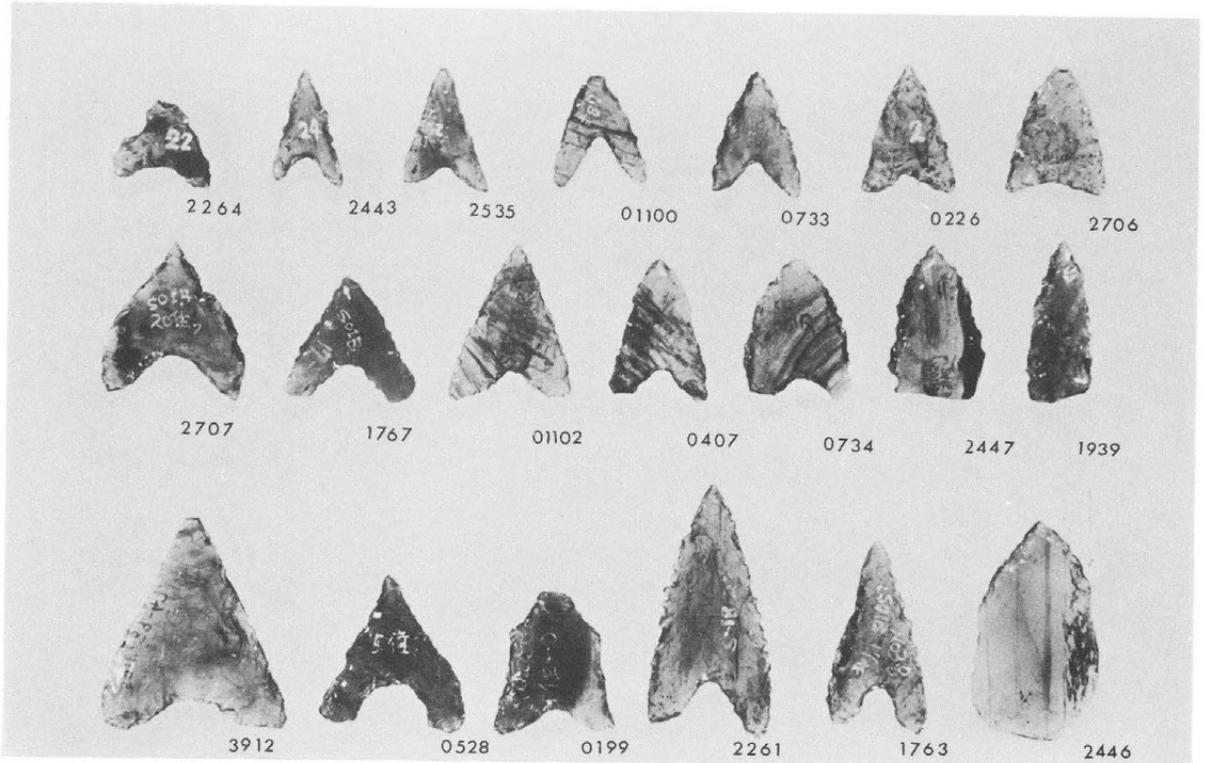
図版118 大石遺跡出土石器（横刃形石器）
（類型別）(1) (1:3)

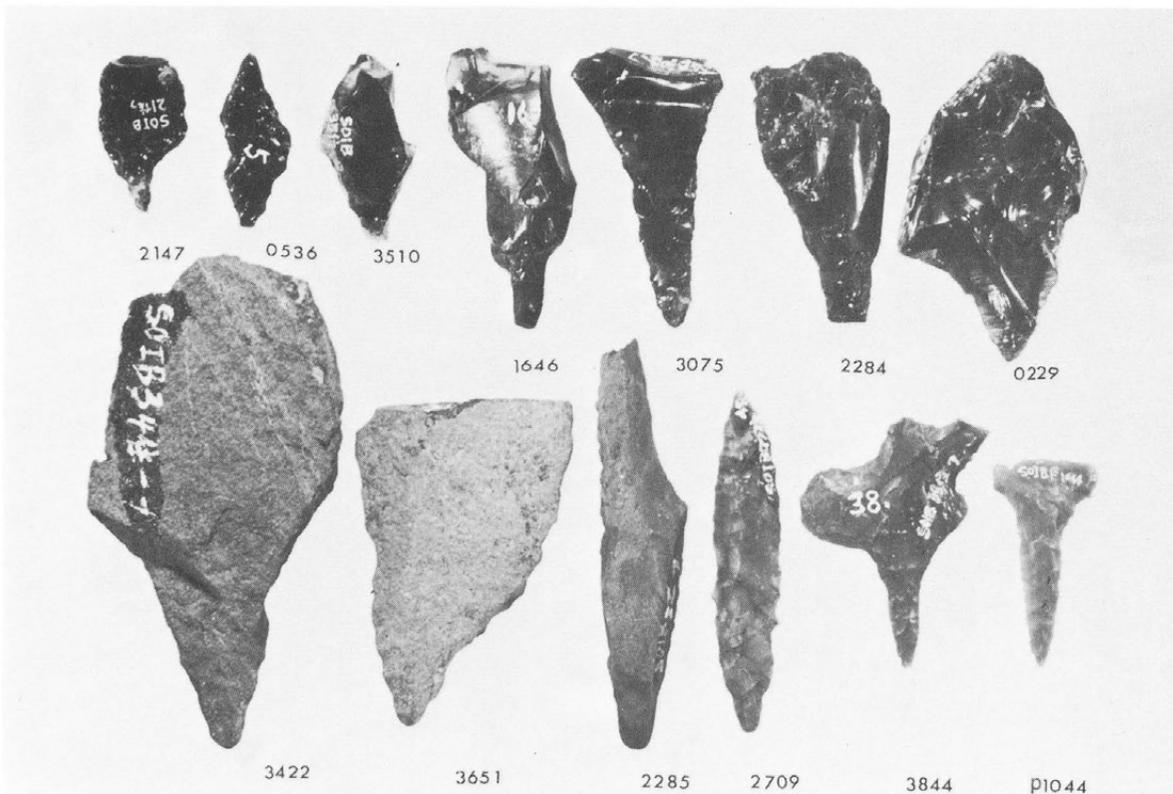
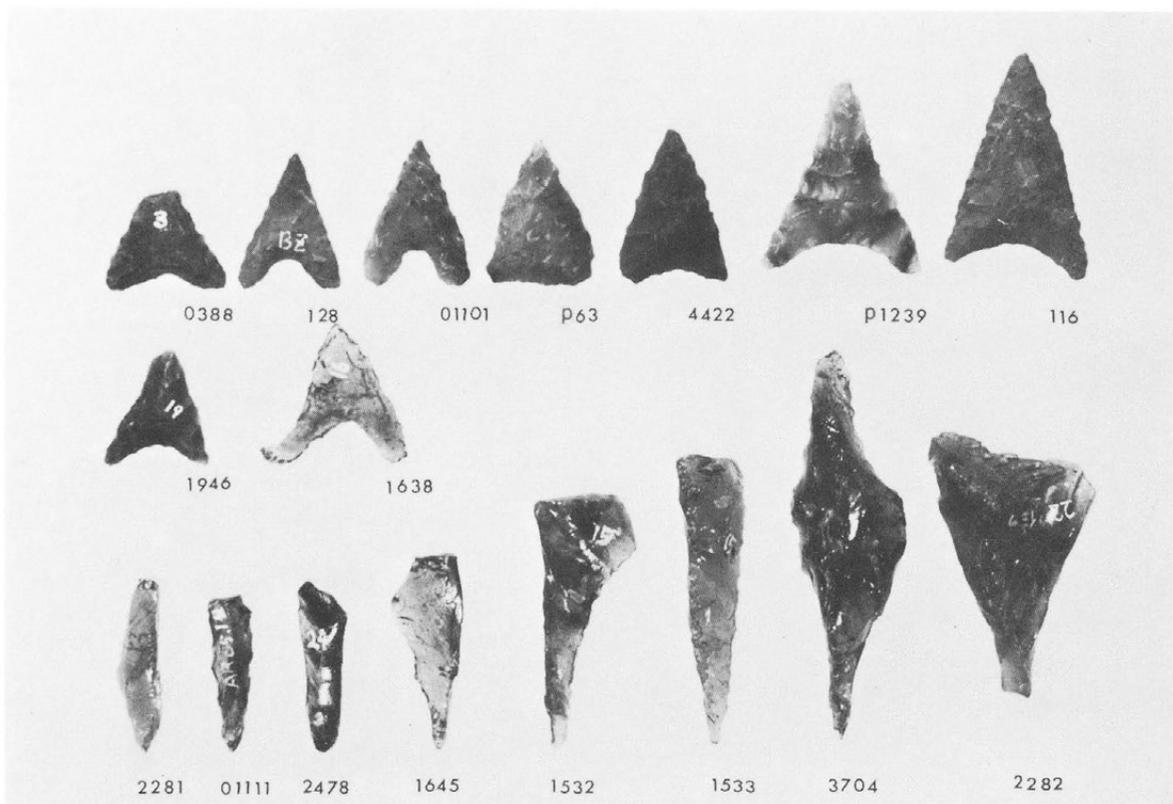


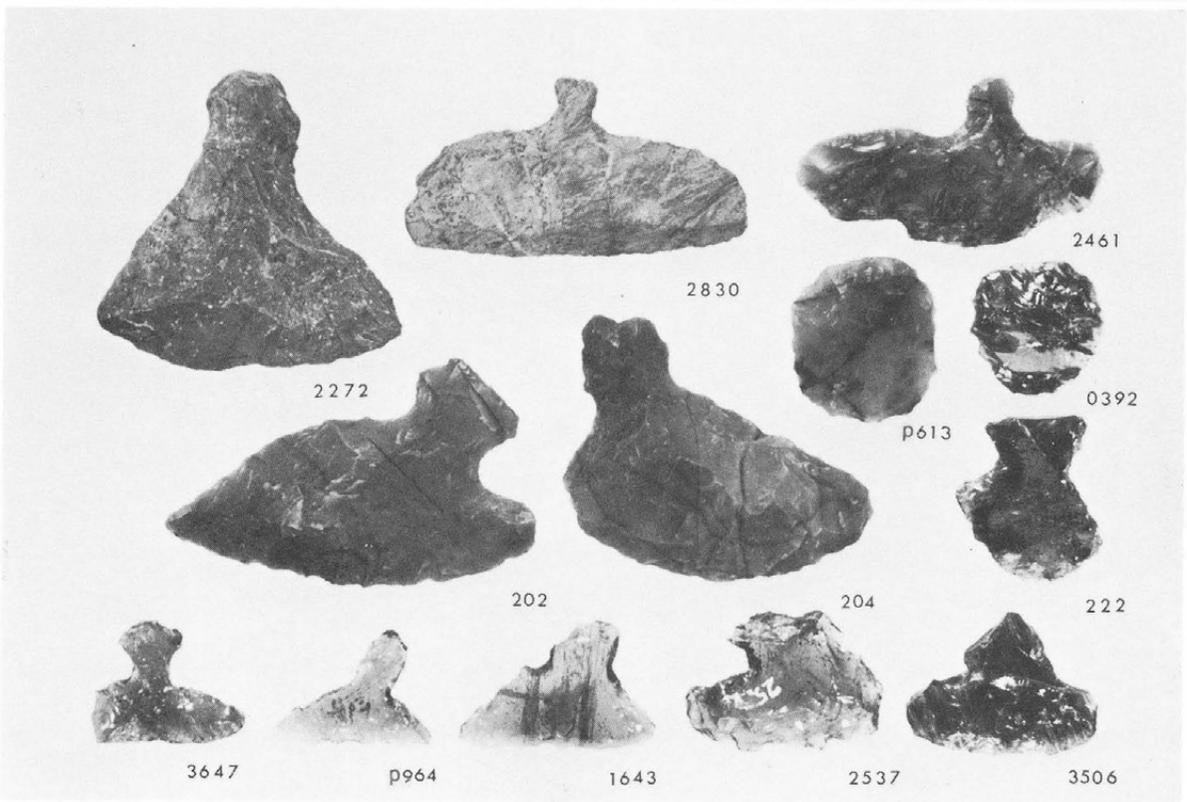
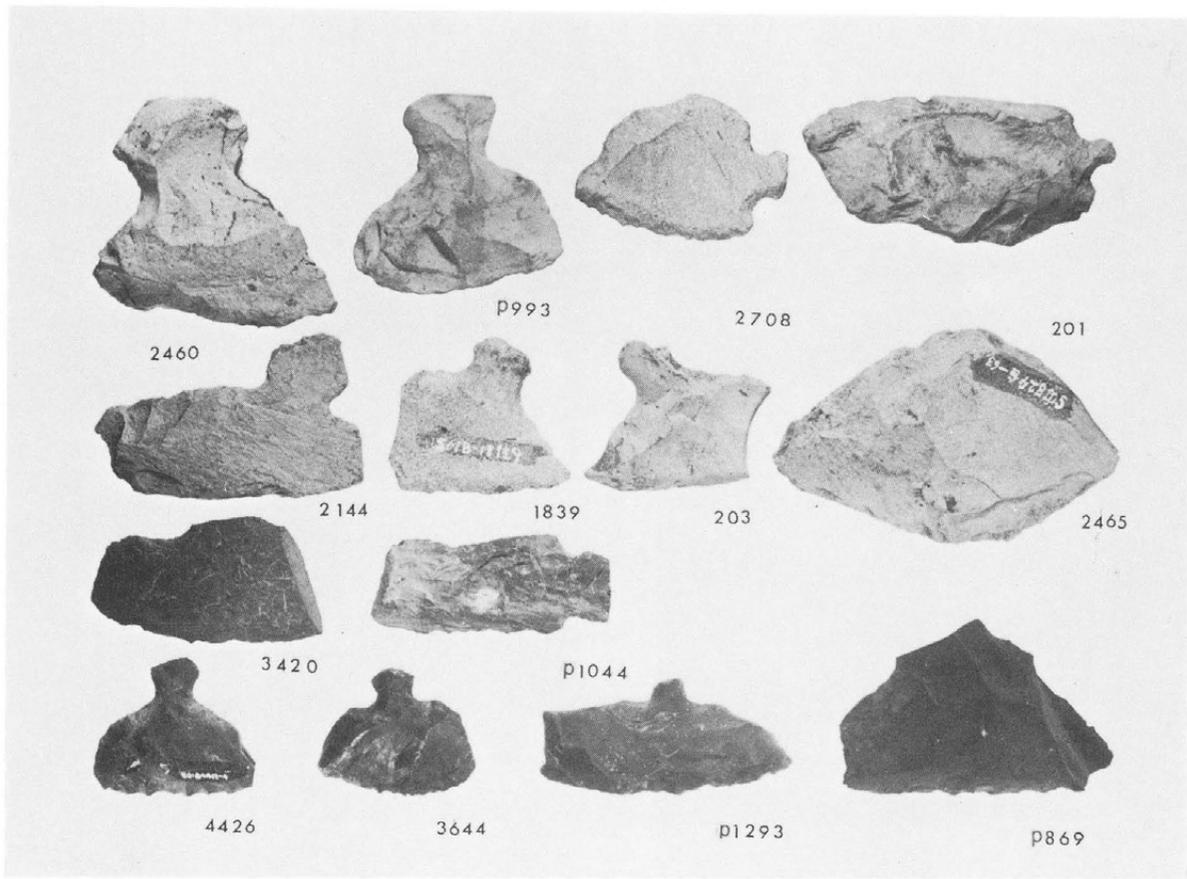


(1~6: 粗大石匙, 7~8: 尖頭石器, 9: 刃器)



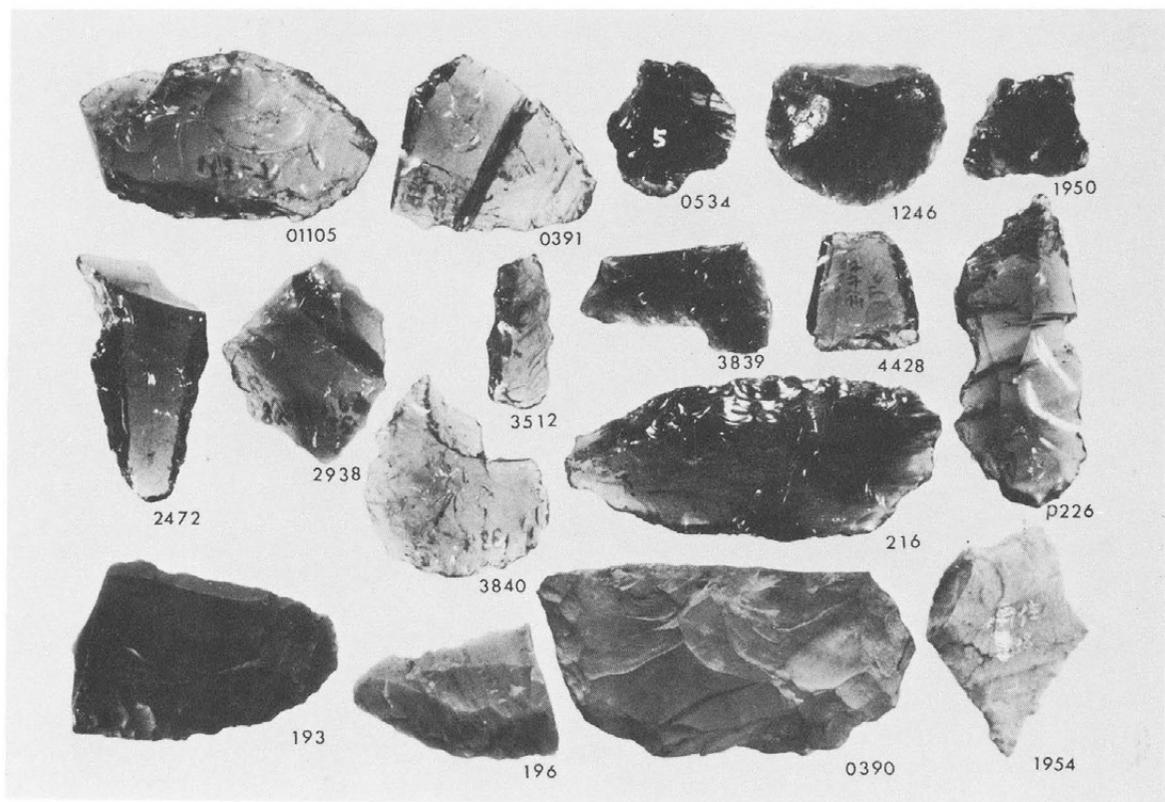
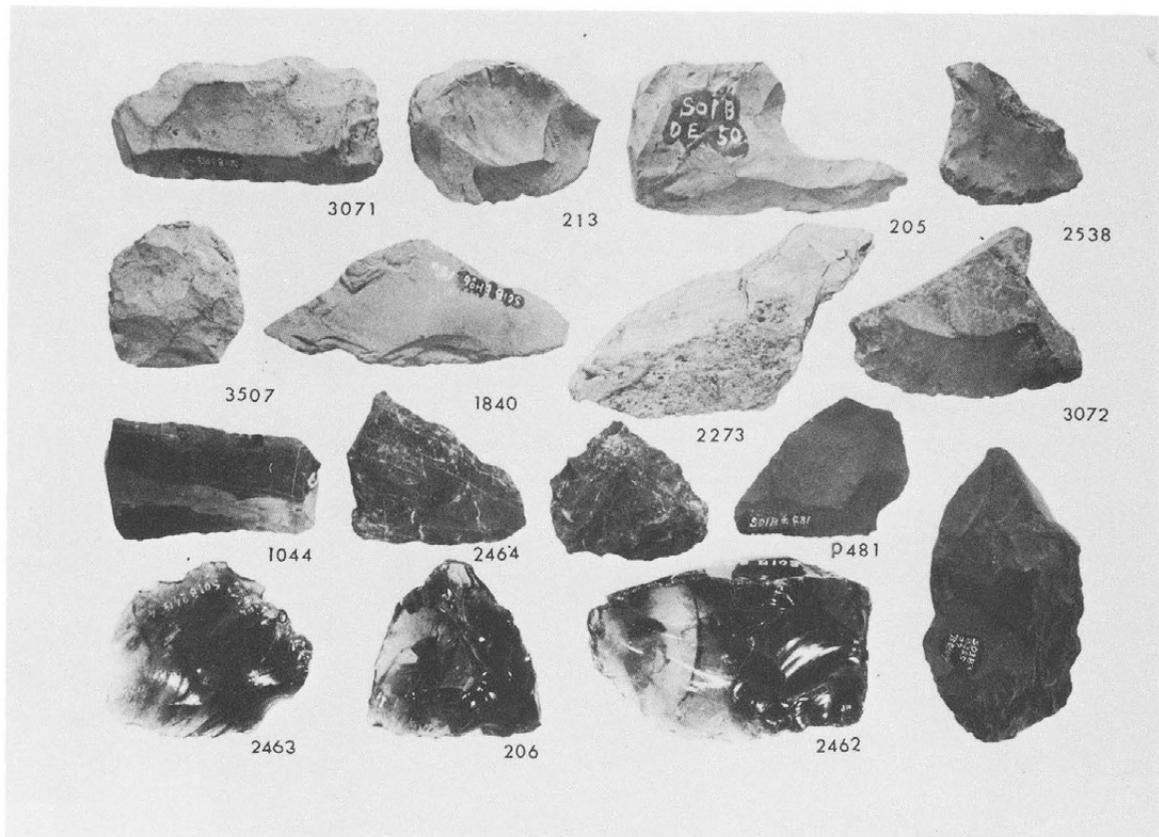






上(1:2)

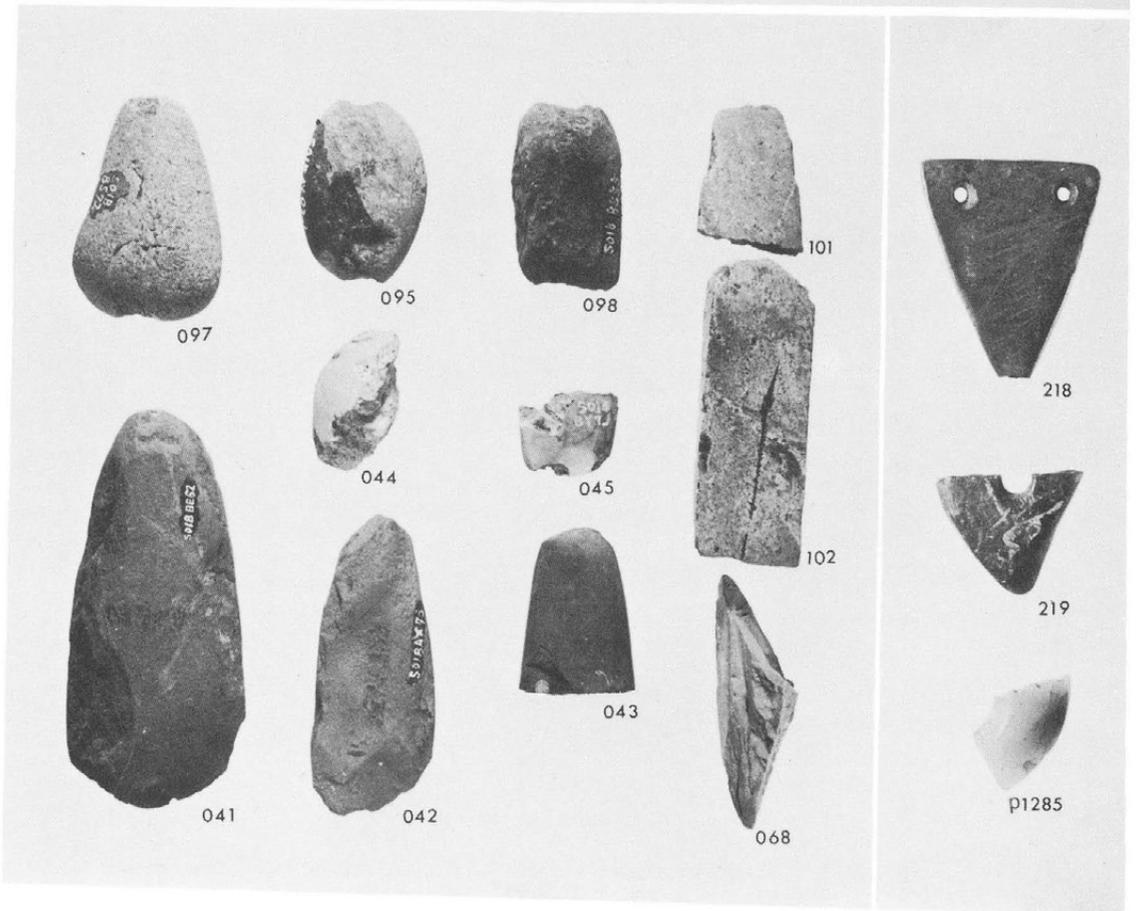
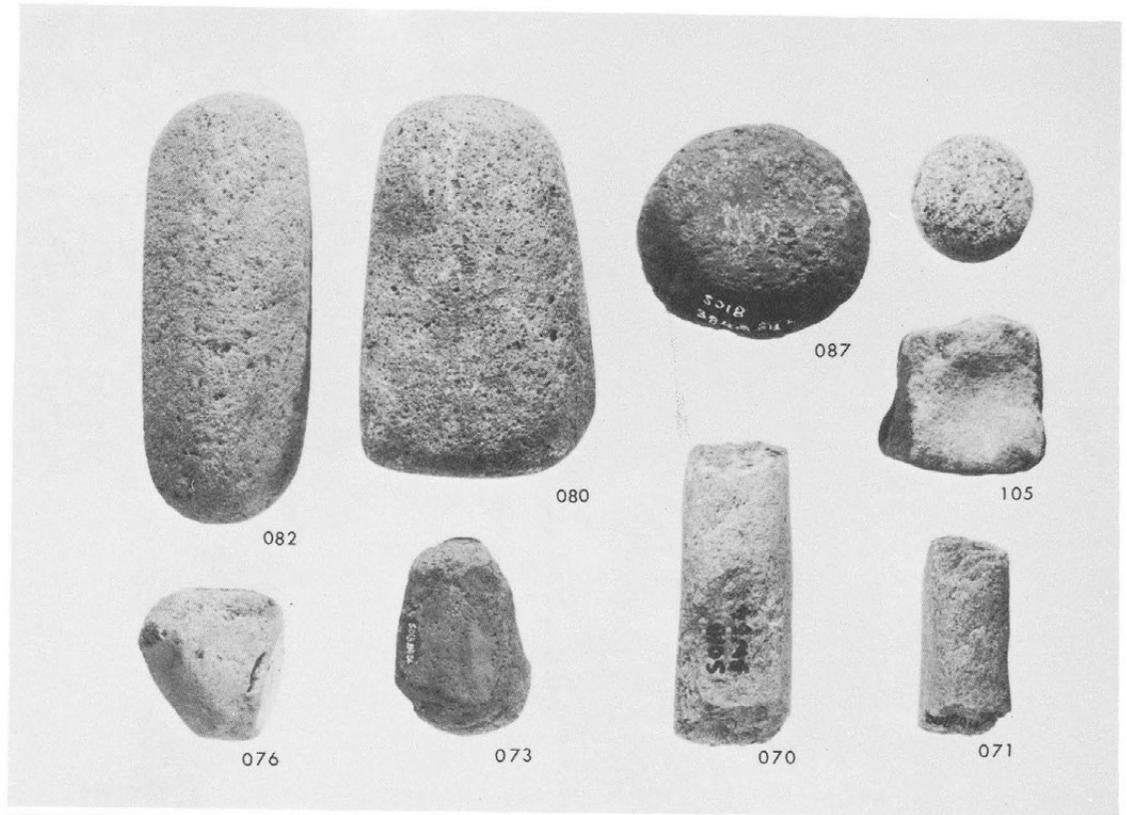
下(1:1)

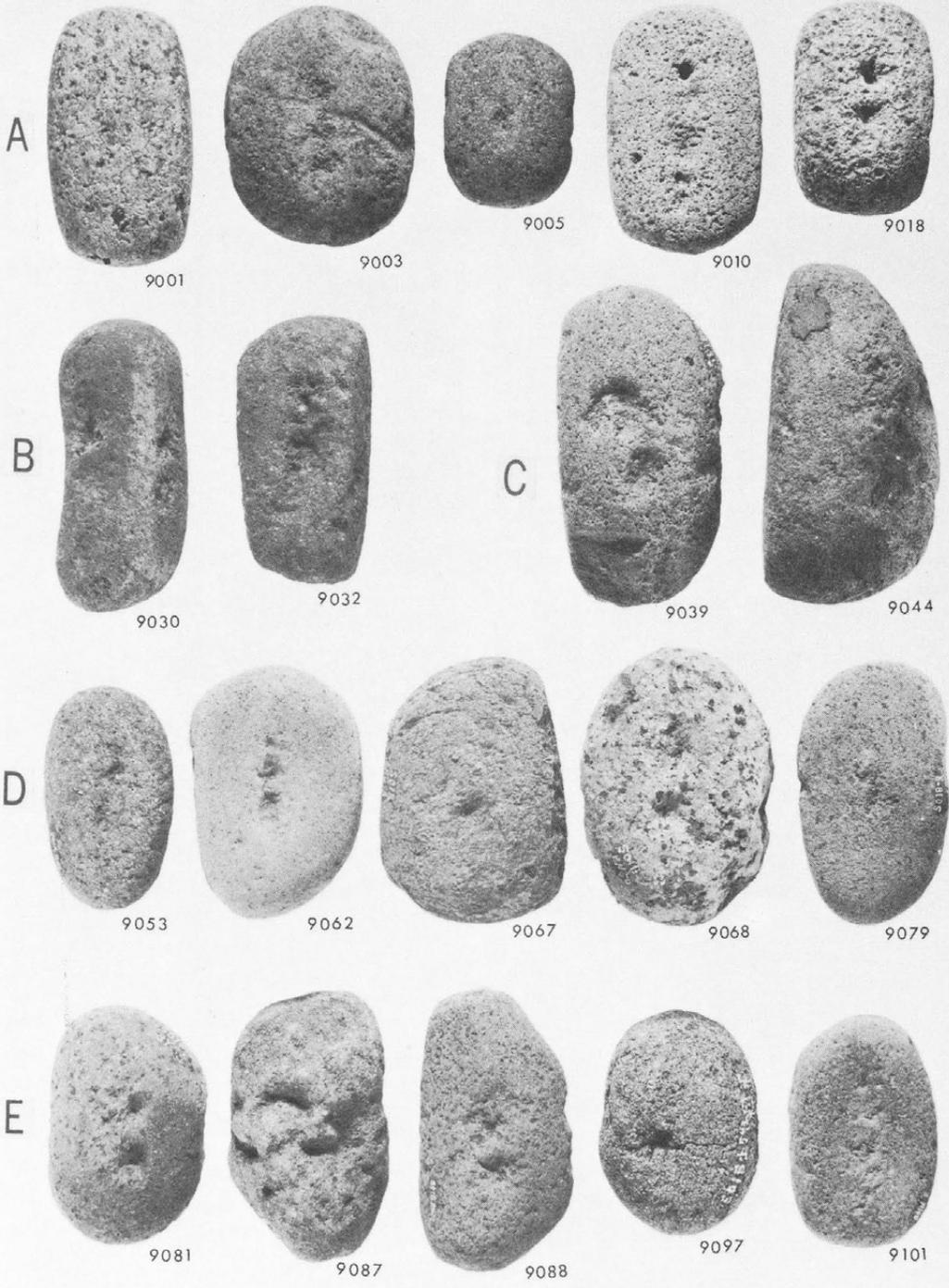


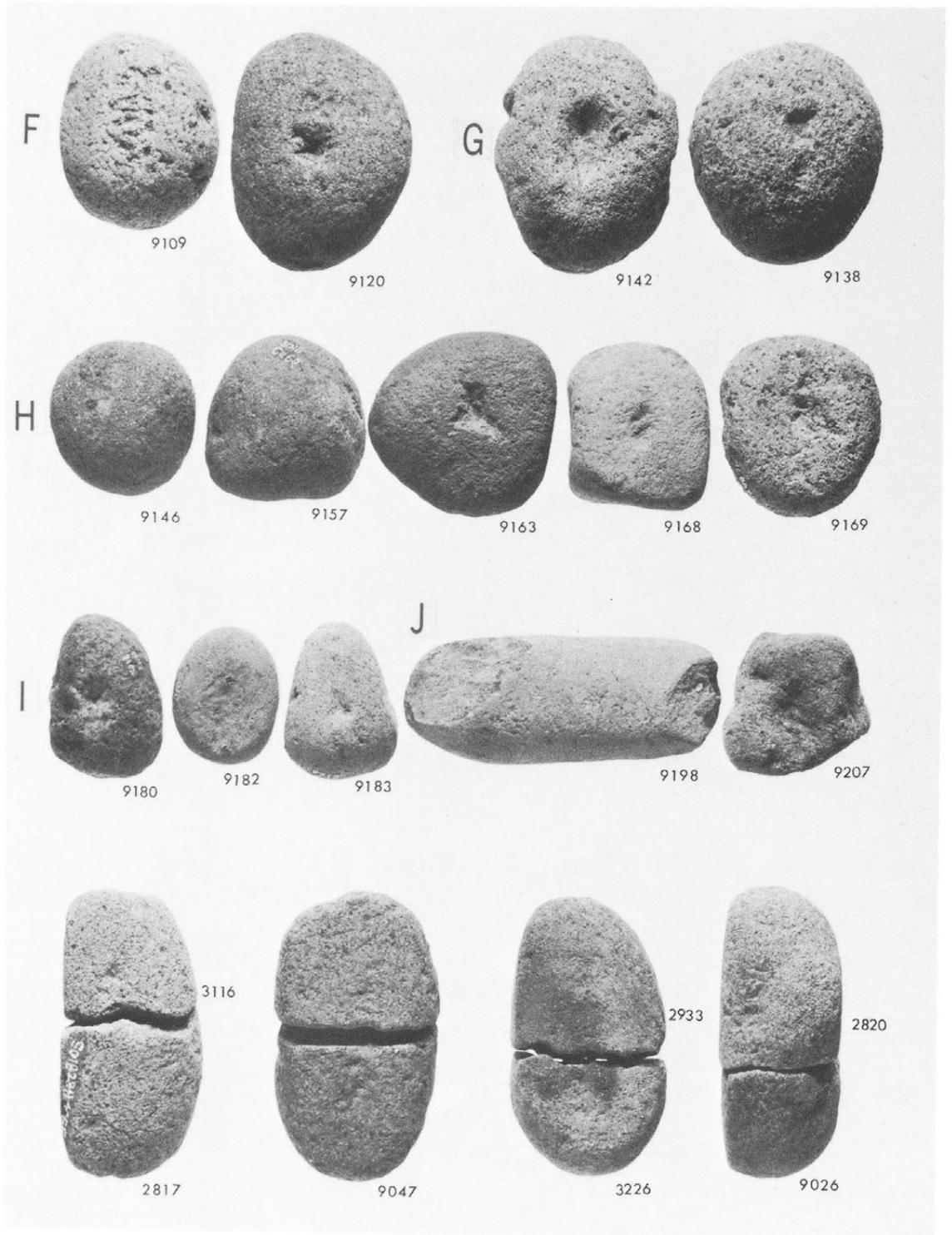
上(1:3)

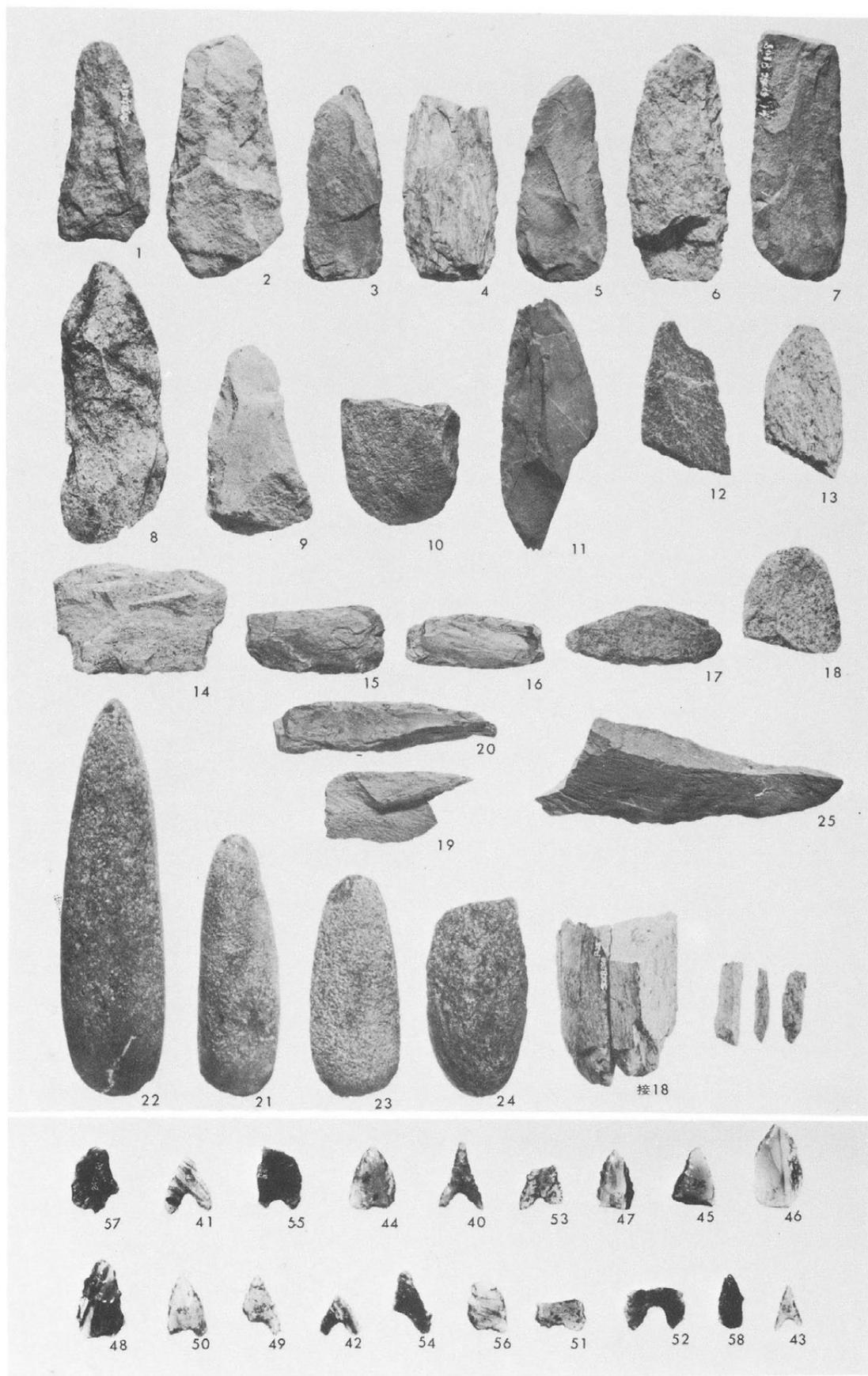
下左(1:2)

下右(1:1)



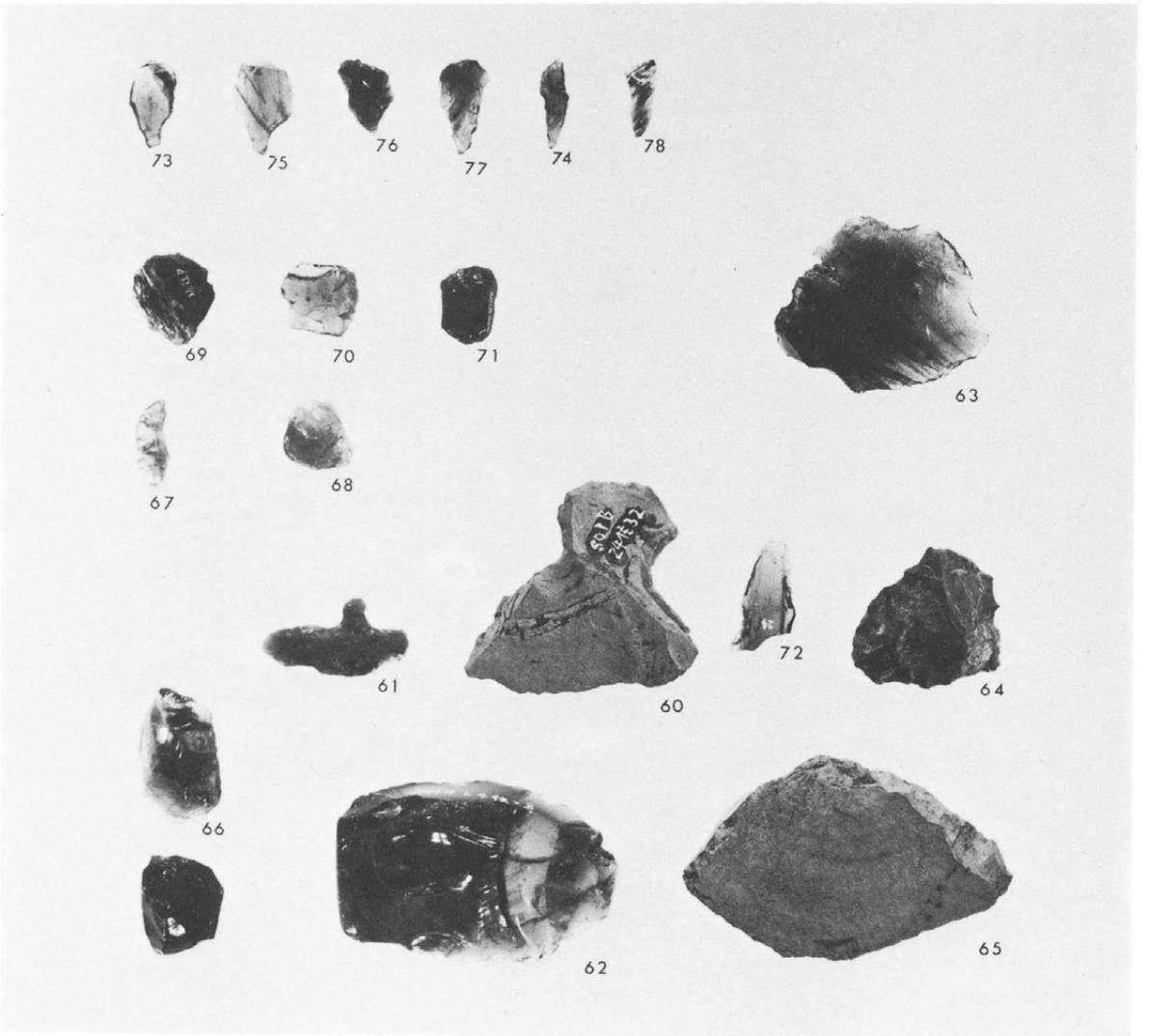
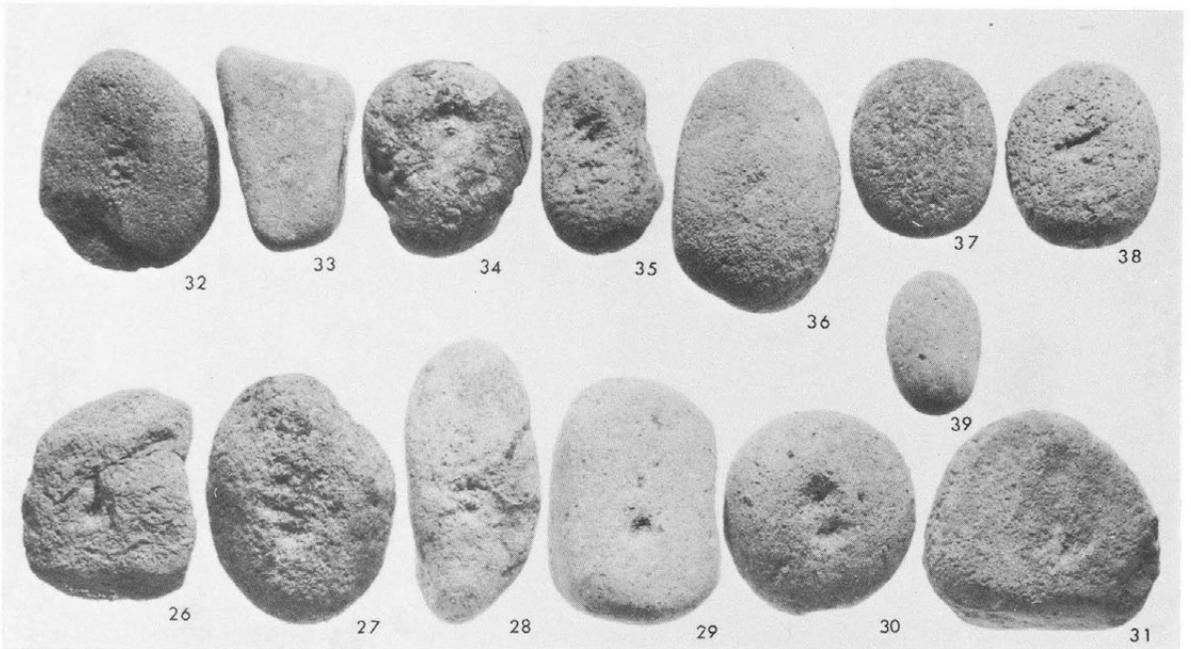


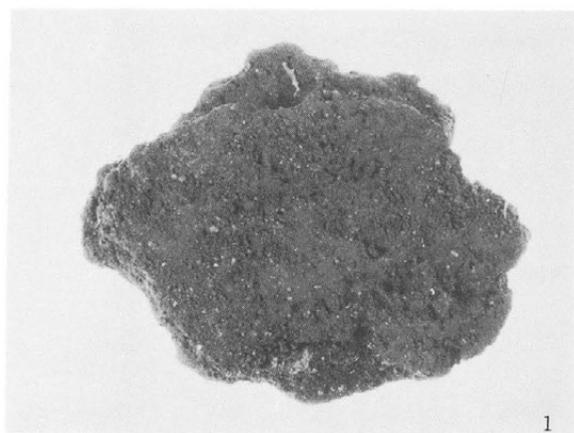




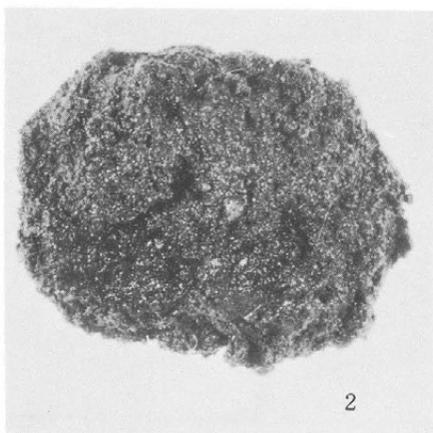
上(1:3)

下(1:2)





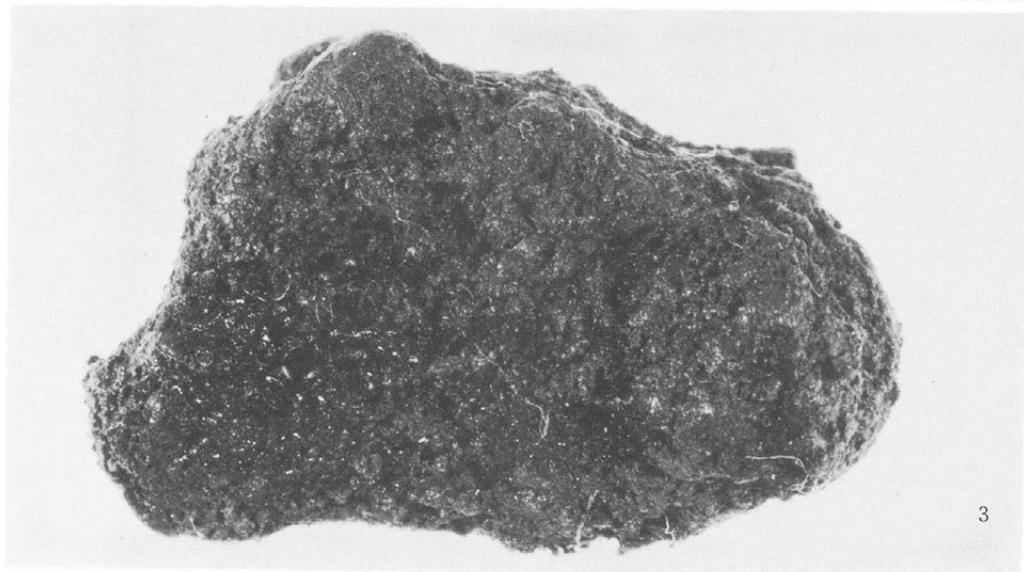
1



2

1. 28号住居址
出土 (×1)

2. 25号住居址
出土 (×2)

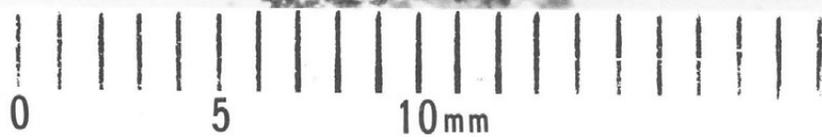


3



4

3.・4. 24号住居址出土

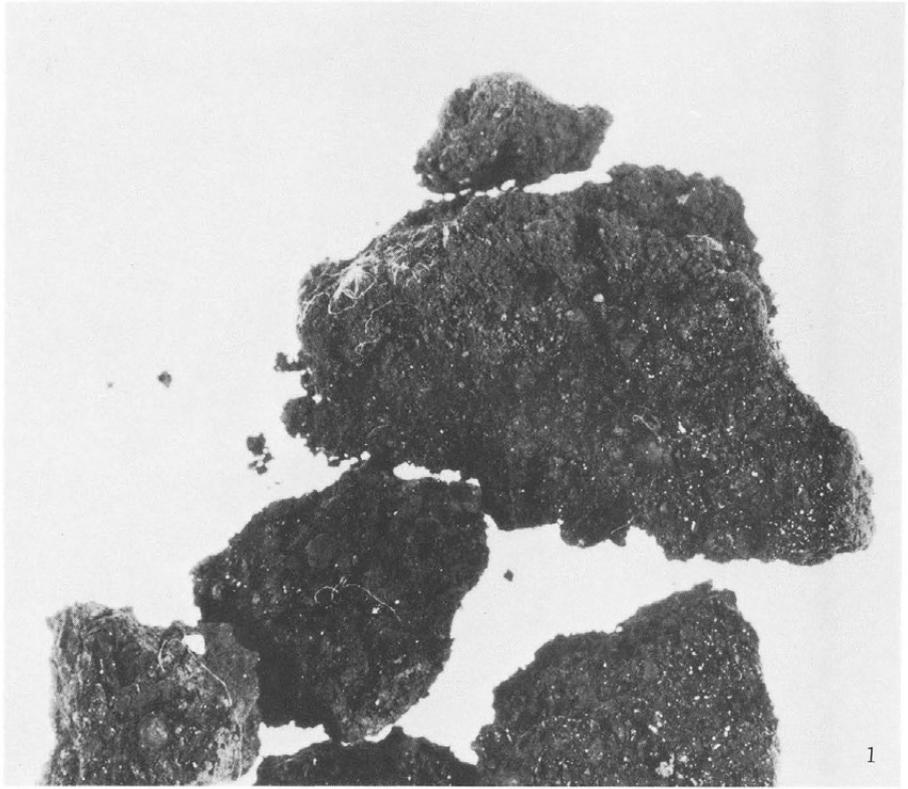


0

5

10mm

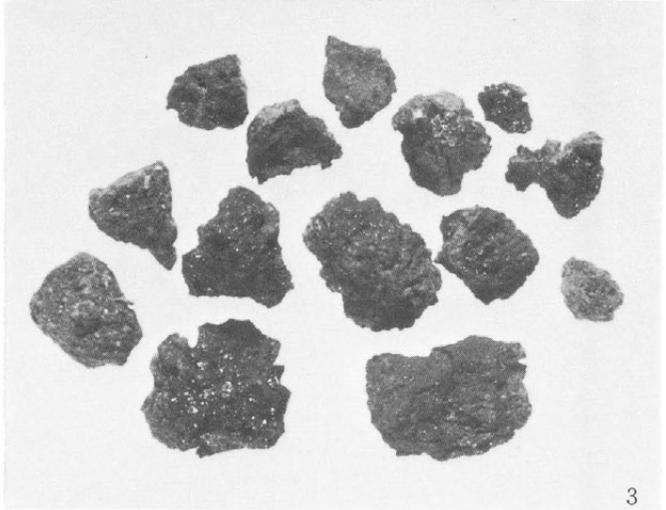
1. 24号住居址出土
(A)



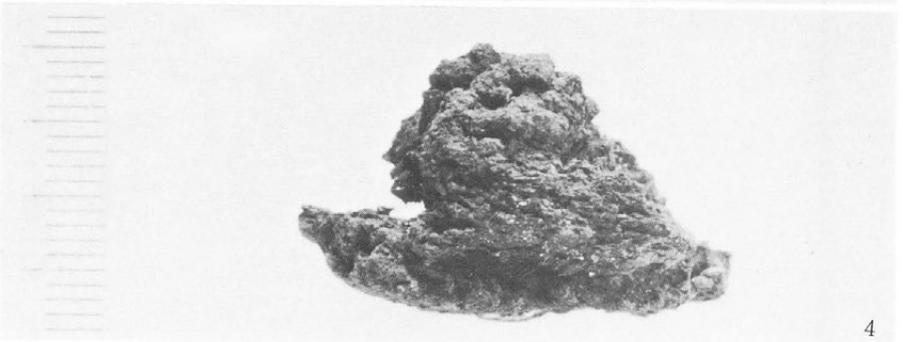
2. 土坑1241出土
(×1)

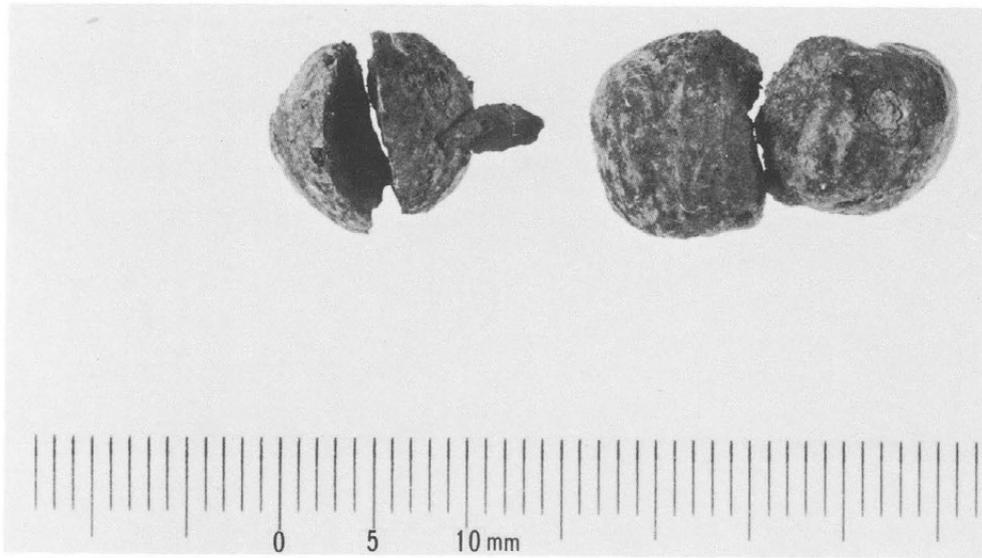


3. 28号住居址出土
(×2)

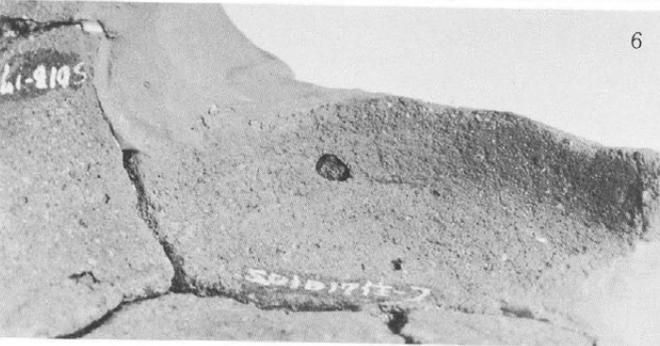
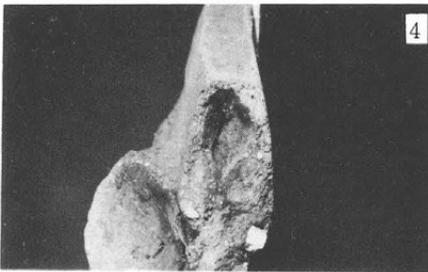


4. 18号住居址出土
(×2)





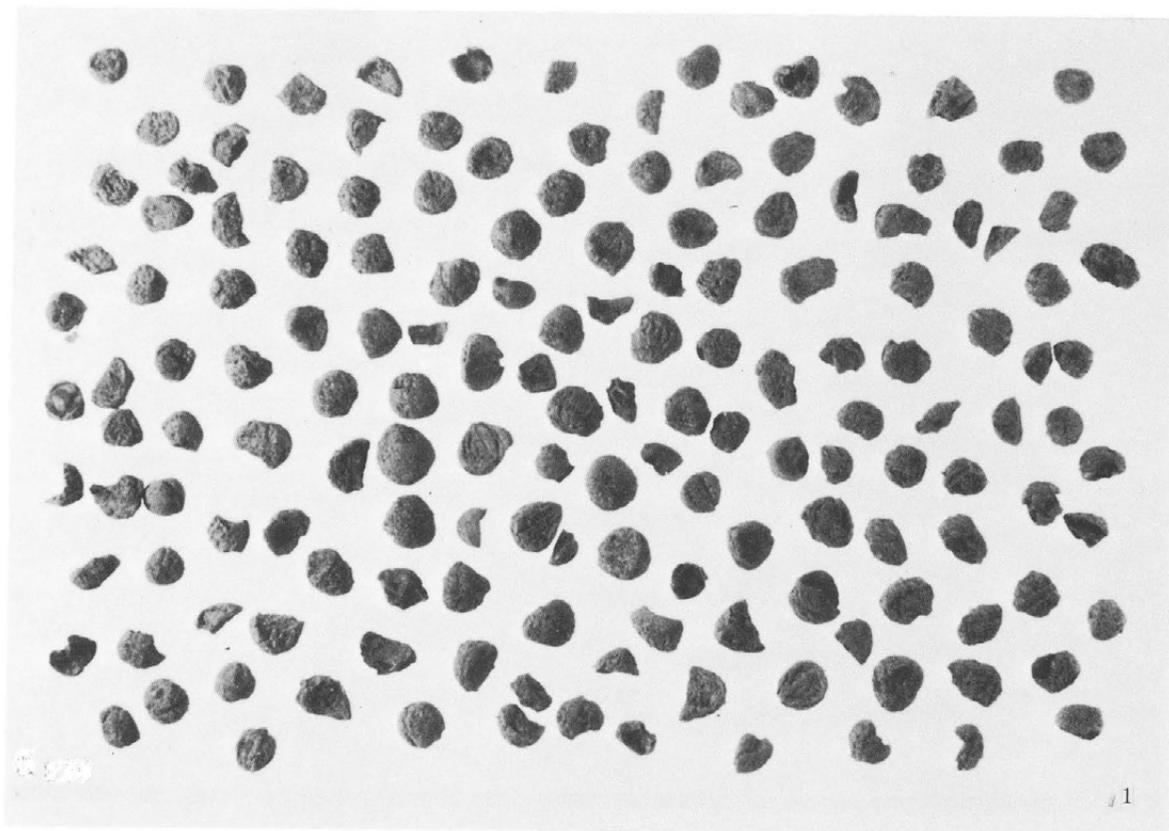
1. 15号住居址
出土



2.~6. 種子圧痕 (1:1)

1 (1:2) 2 (×2)

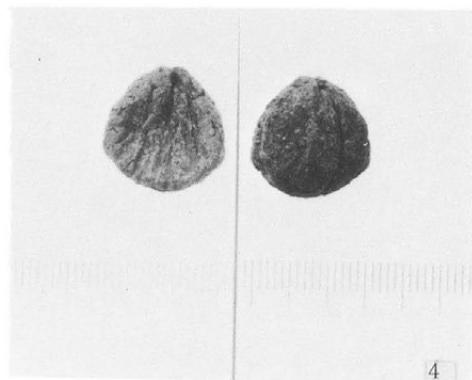
3~4 (1:1)



1



2



4



3



5

1・2. 土塚850出土

3. 土塚1274出土

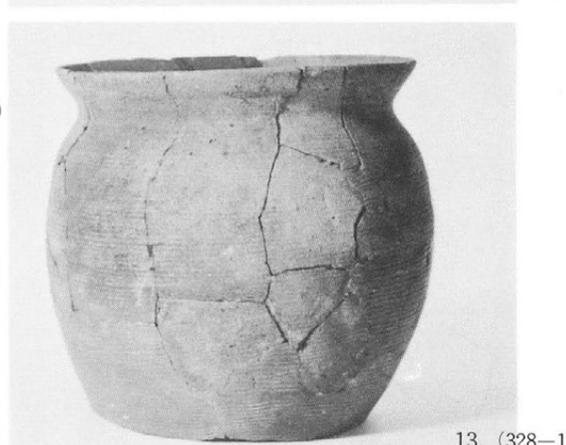
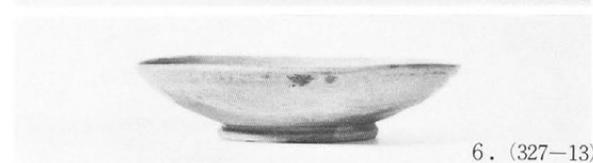
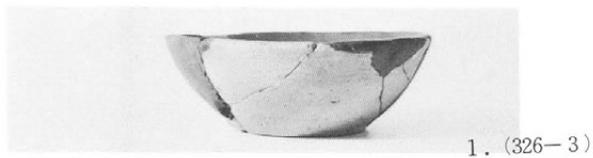
4. BT42出土

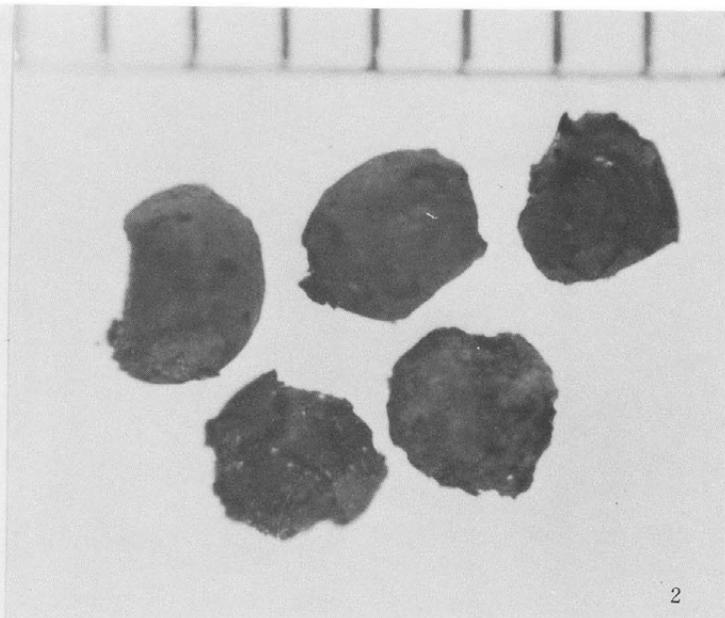
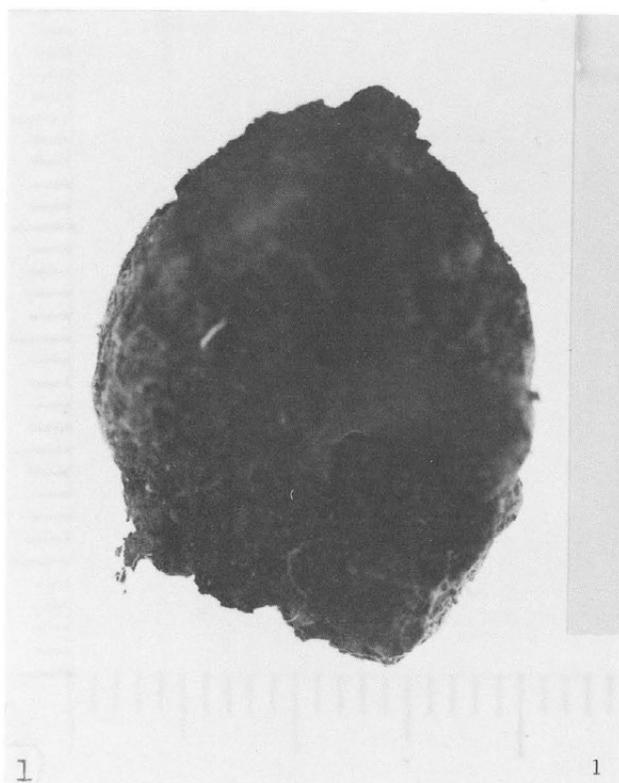
5. 土塚1203出土

1.~7. 8号住居址出土土器 14. 37号住居址出土土器

8.~10. 9号住居址出土土器

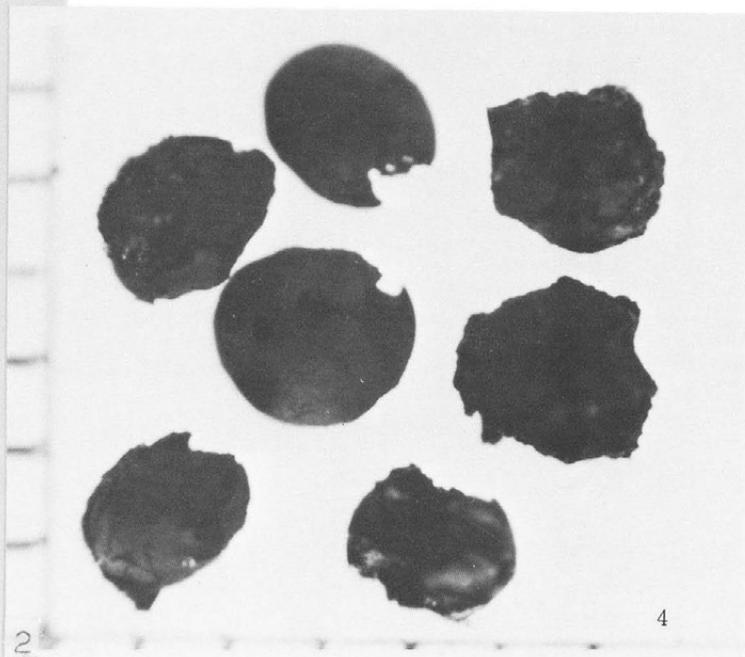
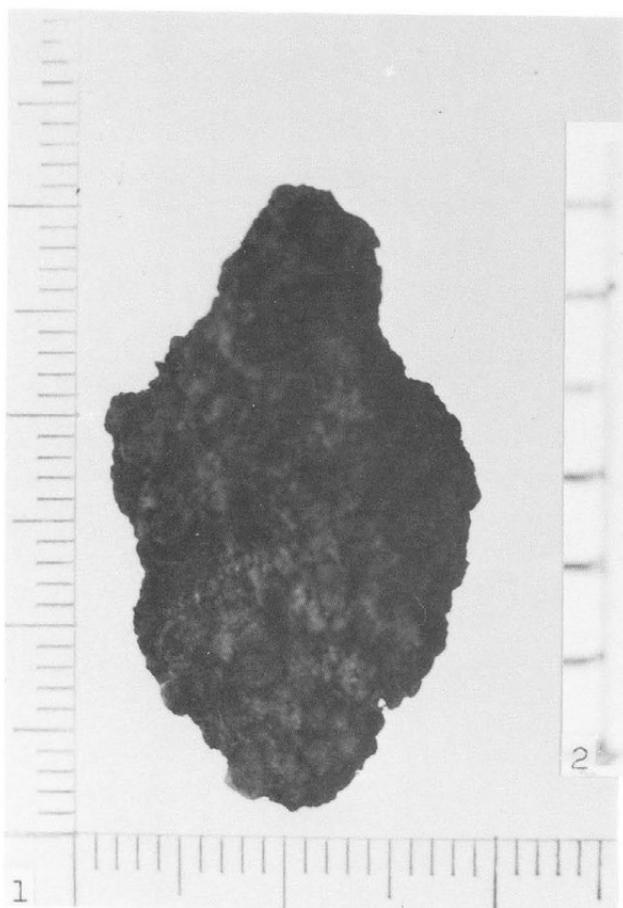
11.~13. 10号住居址出土土器





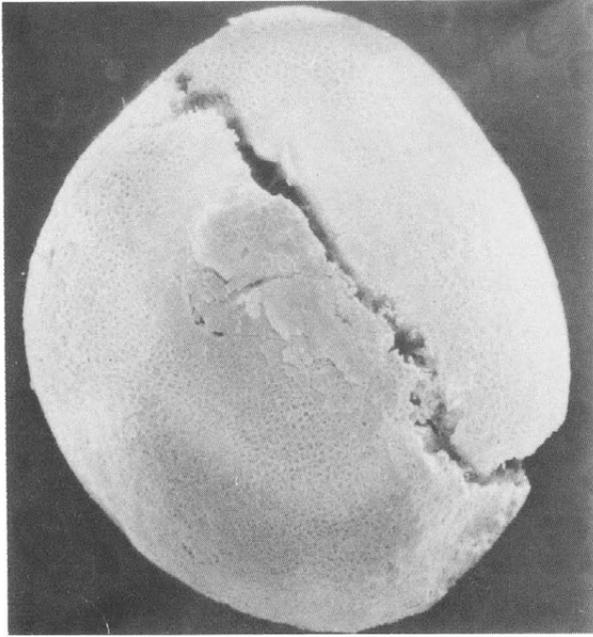
1. 第18号住居址出土炭化穎果塊

2. 同分離した穎果

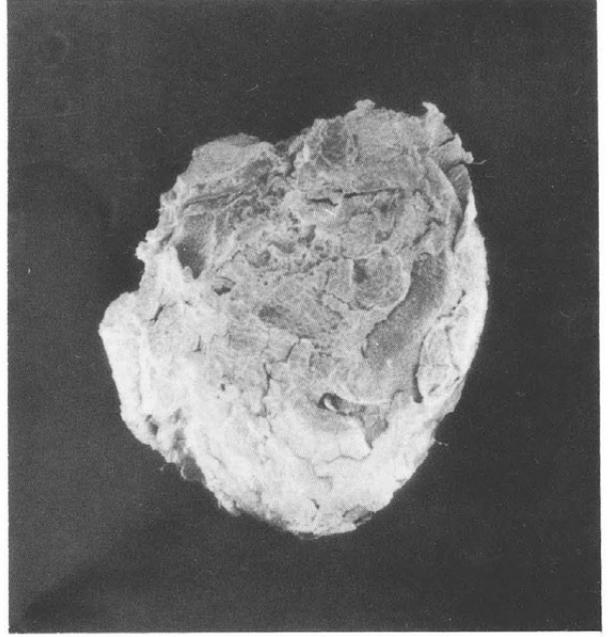


3. 第19号住居址出土炭化穎果塊

4. 同分離した穎果



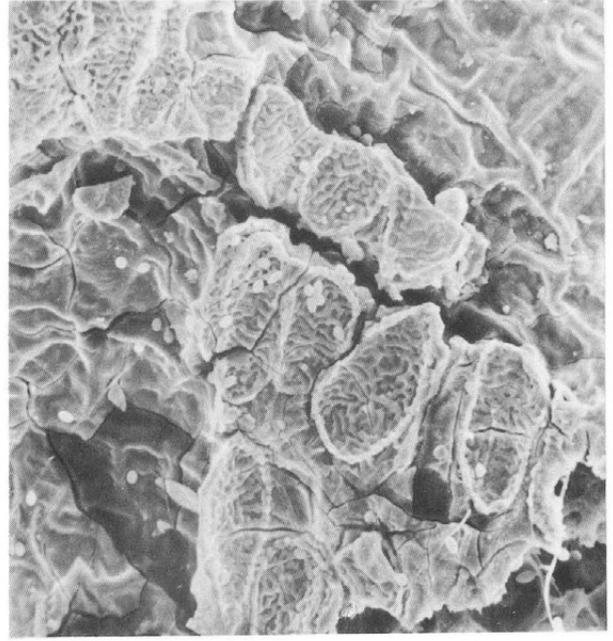
1. 第18号住居址出土炭化種子塊より分離した種子の全体像 (×40)



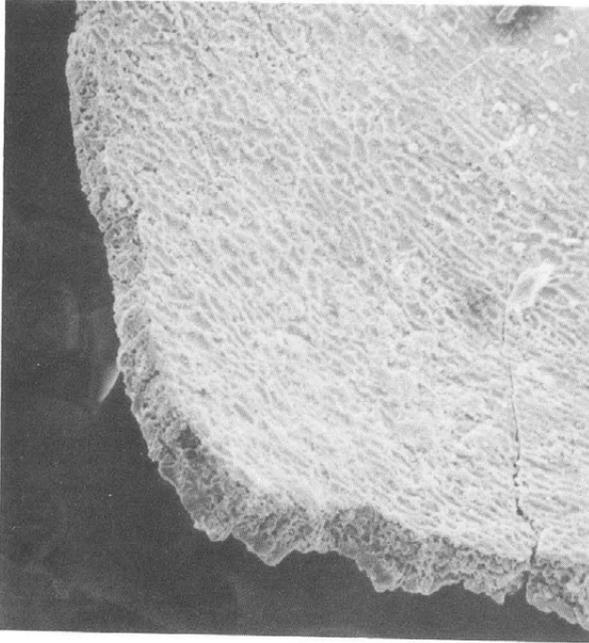
2. 第25号住居址出土炭化種子塊より分離した種子の全体像 (×40)



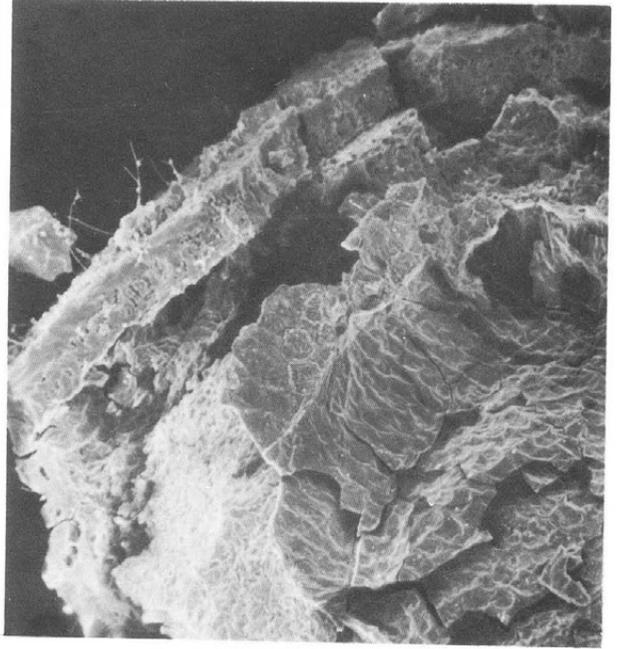
3. 1の部分拡大像 (×400)



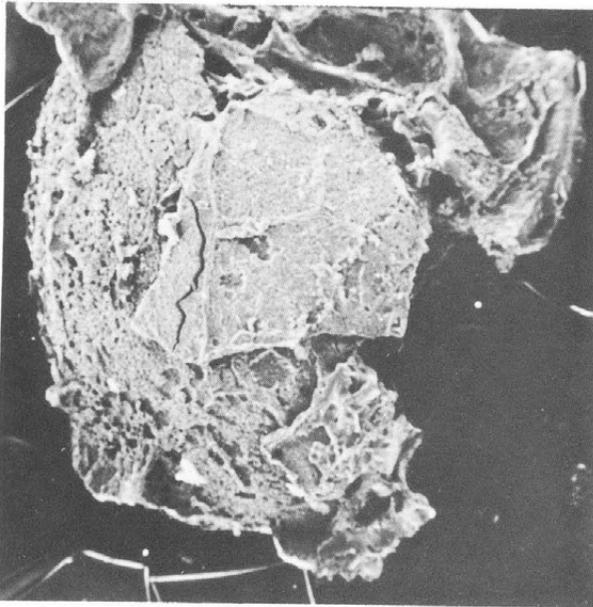
4. 2の部分拡大像 (×400)



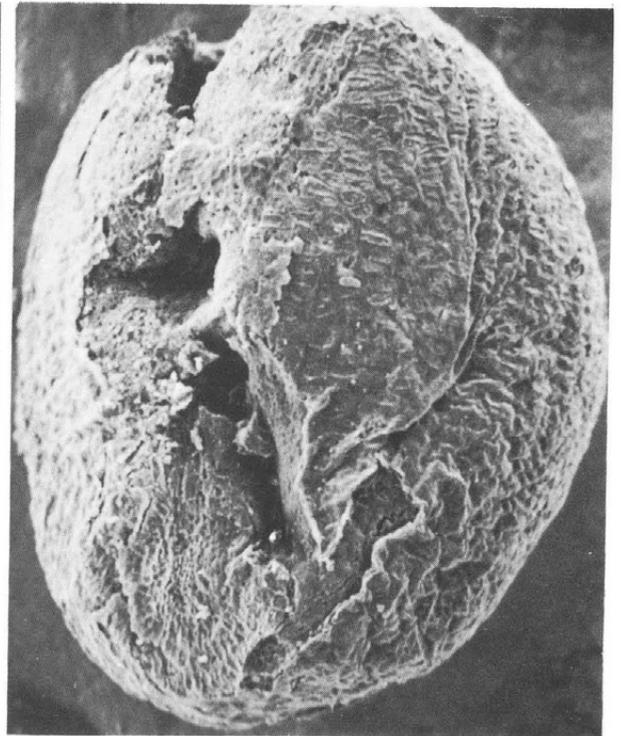
1. 図版136-1の種子のまわりについていた果皮の裏面及び断面 (×100)



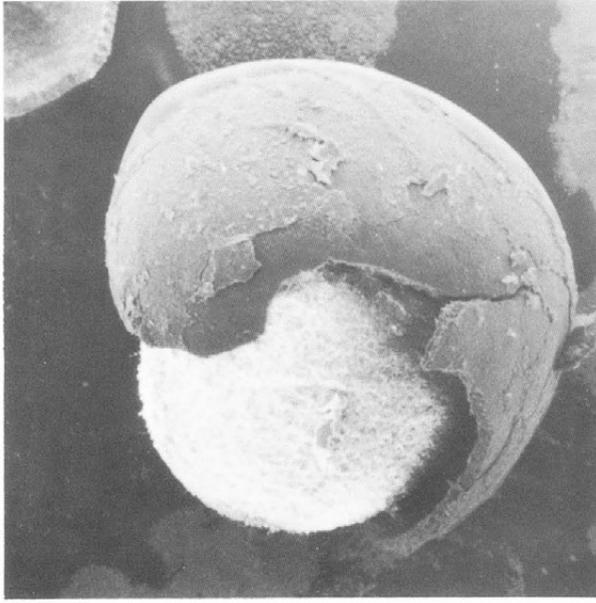
2. 図版136-2の断面部分拡大像 (×100)



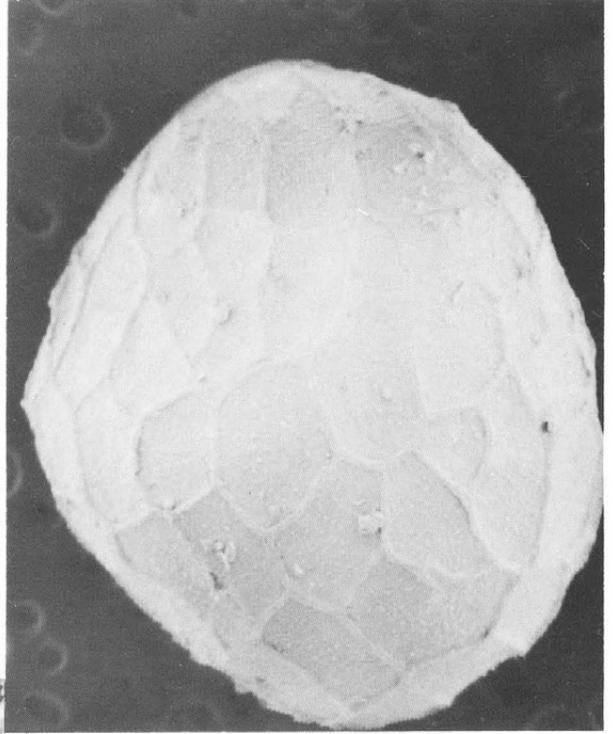
3. 荒神山遺跡出土炭化種子塊破片に網目の認められるもの (×50)



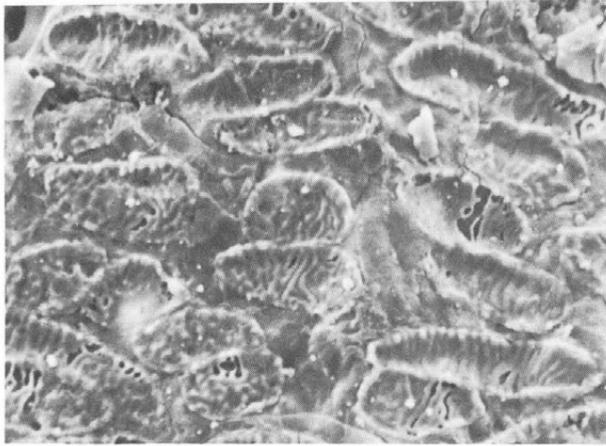
4. 同遺跡出土炭化種子塊より分離した種子の全体像 (×50)



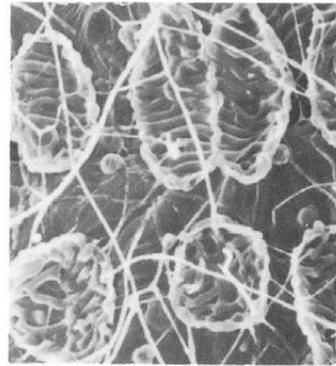
1. シソの果皮ならびに種子 (×40)



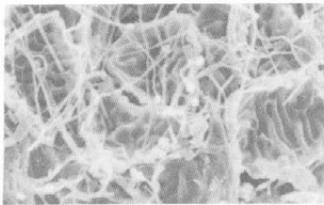
2. エゴマ (赤) の分果 (×40)



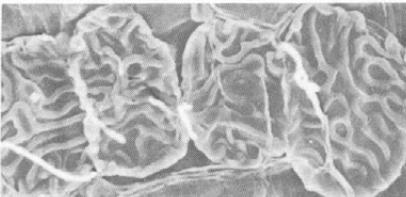
3. 図版9-4の部分拡大像 (×500)



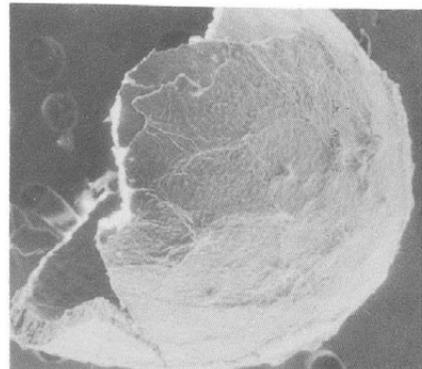
4. エゴマ (白) の種皮にみられる
“わらび状細胞” (×400)



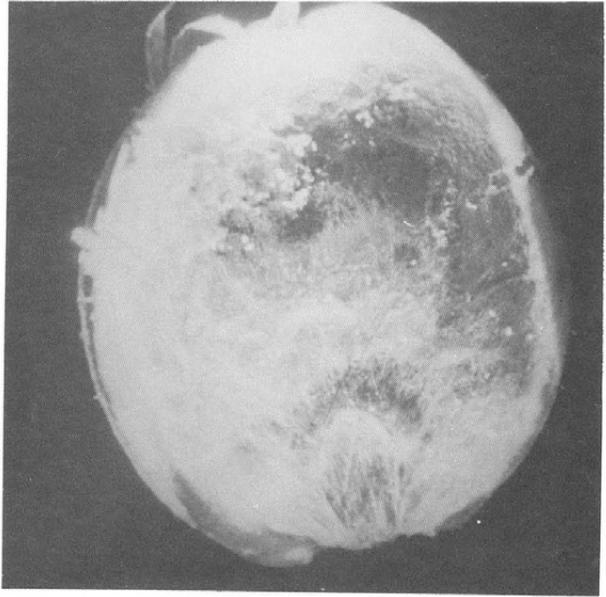
5. シソの種子にみられる“わらび状細胞” (×400)



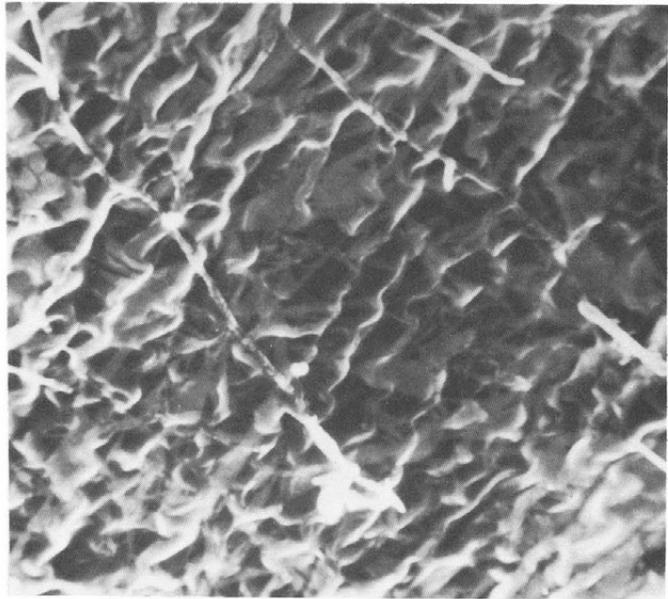
7、6の種子にみられる“わらび状細胞”



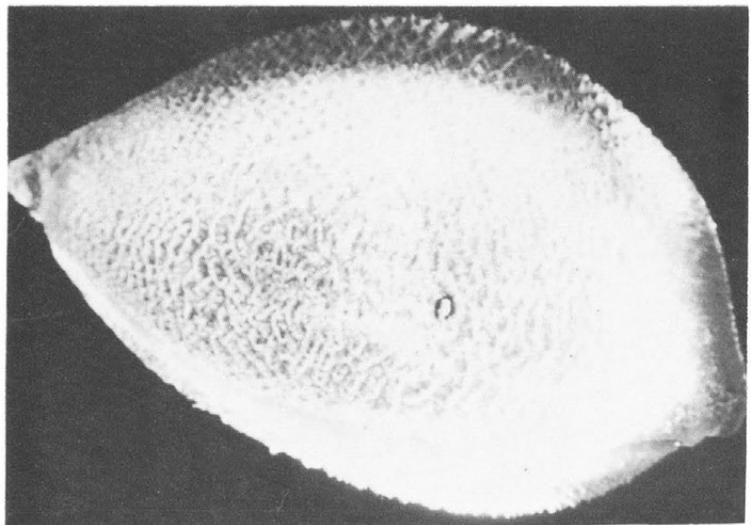
6. レモンエゴマの半割した分果 (×400)



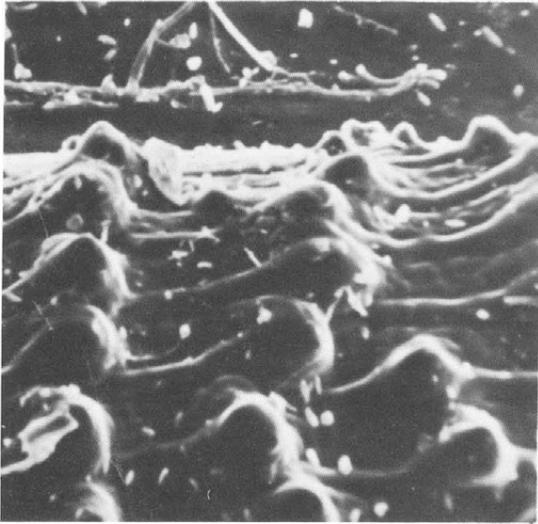
1. 現生アワ穎を除去したもの (×50)



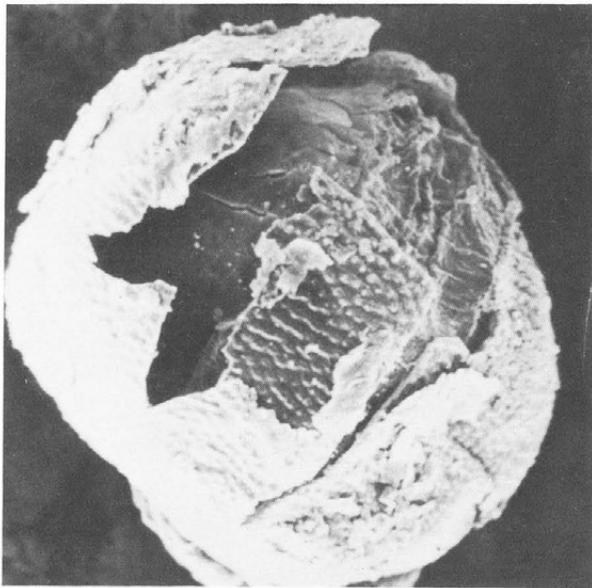
2. 同上拡大 (×1000)



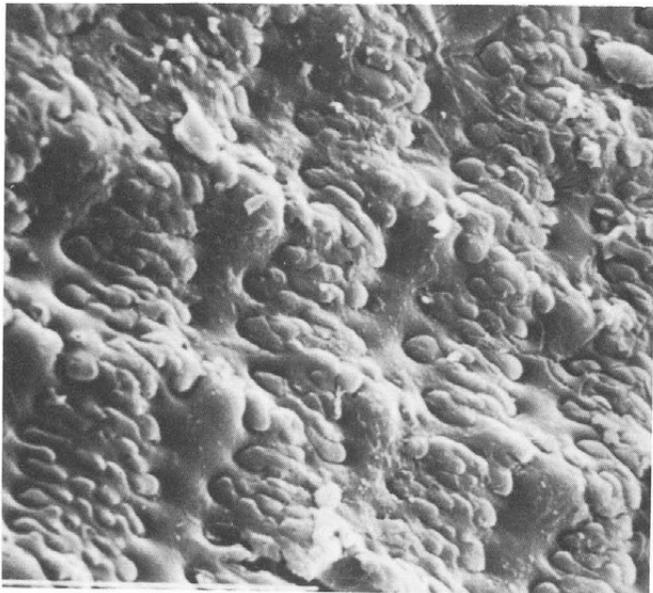
3. 現生アワ穎のついたもの (×50)



1. 現生アワ穎のついたもの (図版11-3) 拡大 (×500)



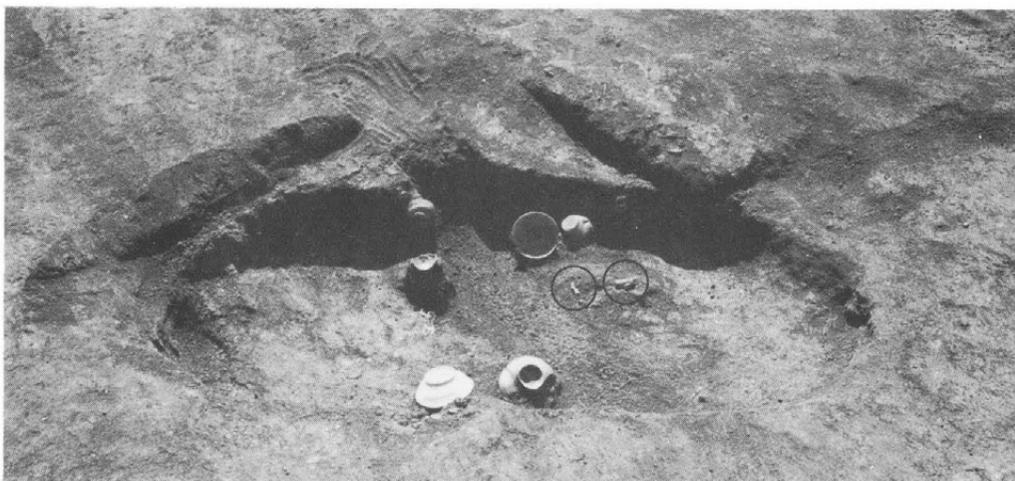
2. 三内遺跡出土炭化種子 (×50)



3. 同上拡大 (×1000)



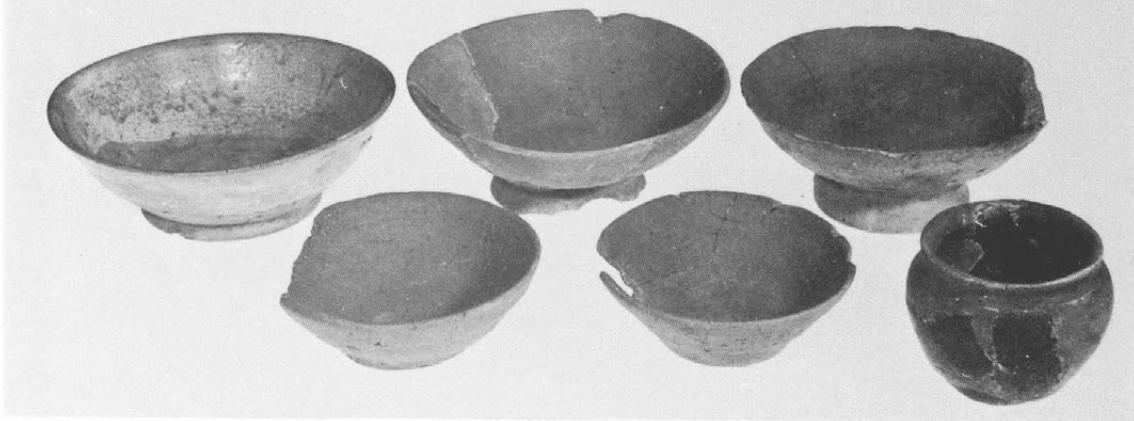
1. 遺跡遠景（北より）



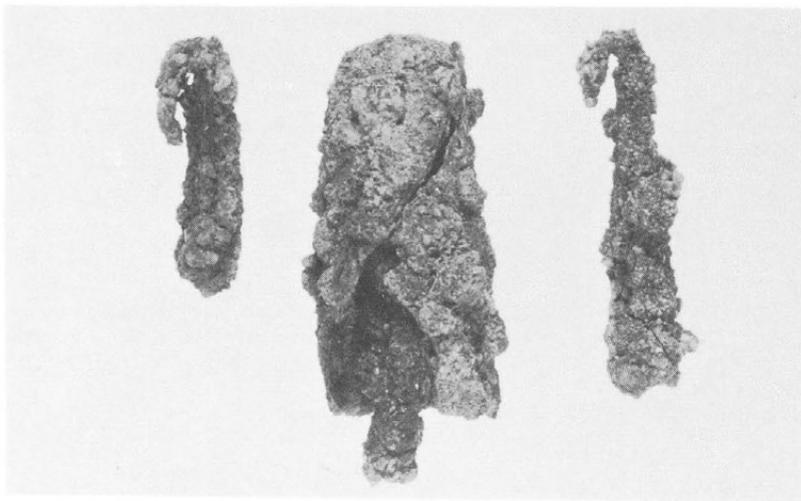
2. 土坑1（0内が鉄鐸）



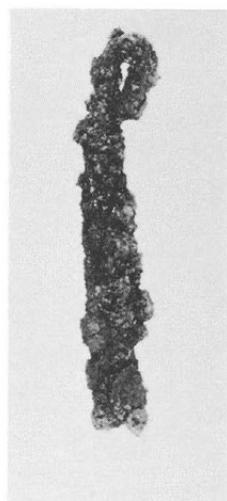
3. 同上細部



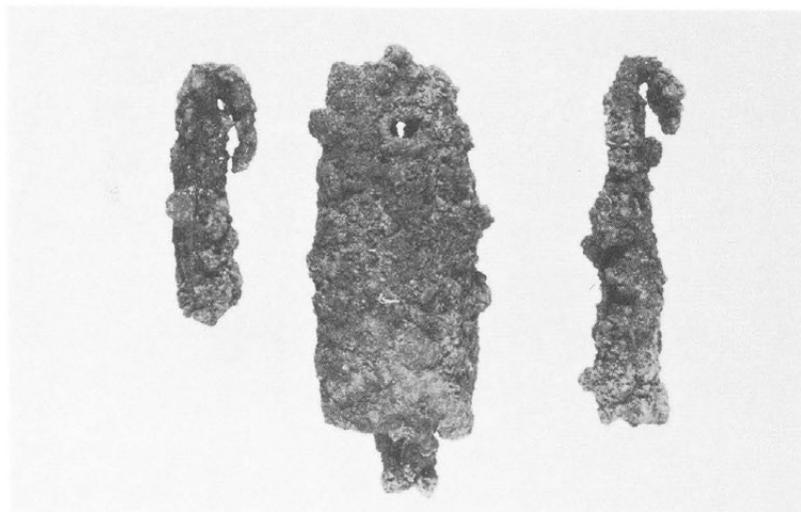
1. 土坑一括出土土器



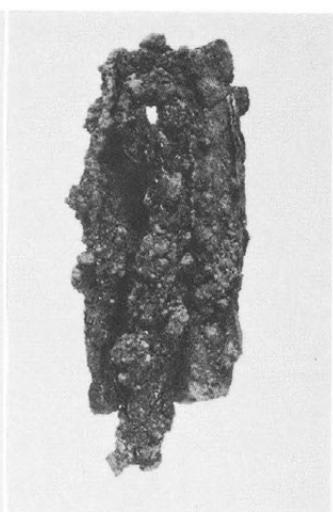
2. 同鉄鐸と舌 (原寸)



3. 鐸内の舌



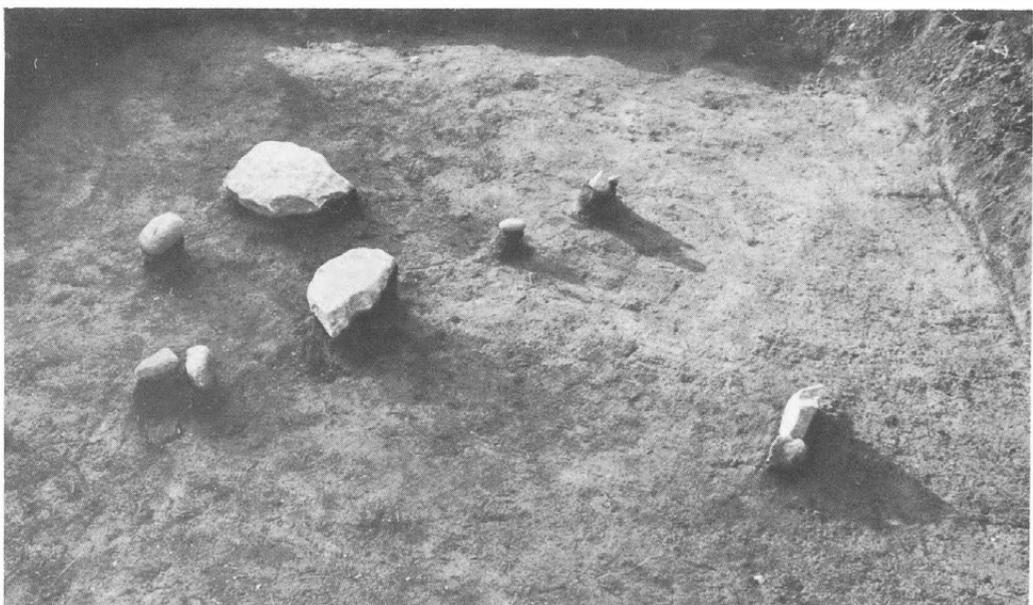
4. 同上裏面



5. 鐸内の状態



1. 遺跡近景 (北より甲斐駒ヶ岳を望む)



2. 遺物集中区1



3. 遺物集中区2



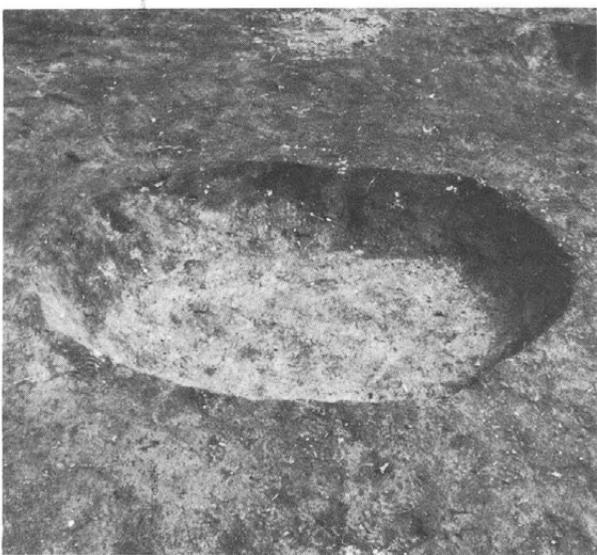
1. 遺物集中区3



2. 遺物集中区4

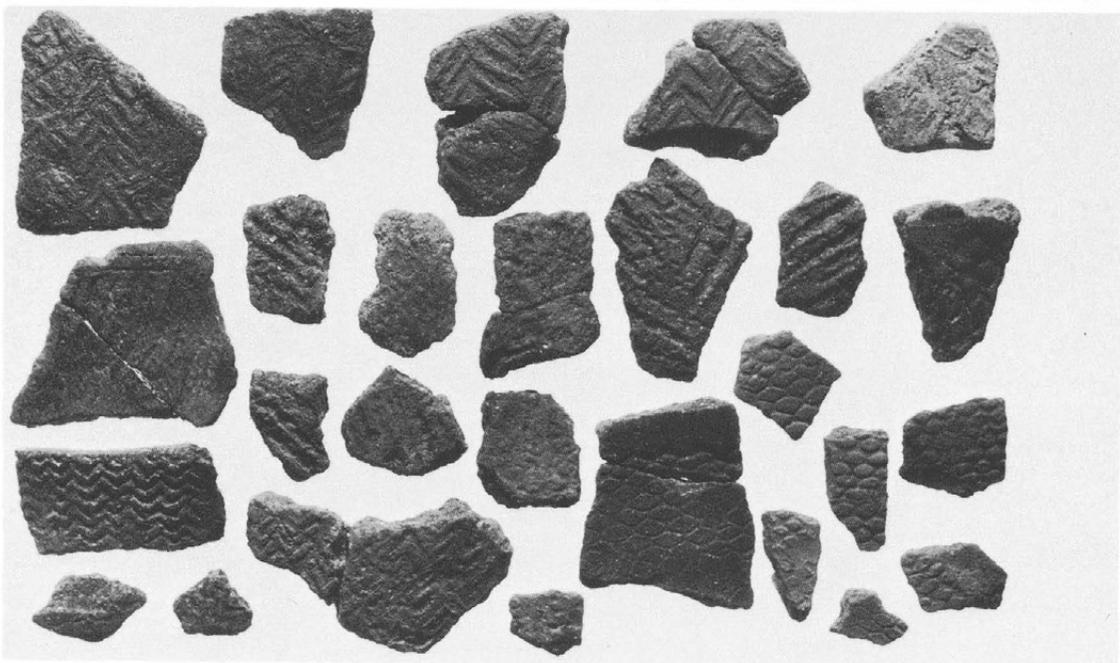
3. 土坑1

4. 土坑2 (左),
3 (右)





1. 土器



2. 土器



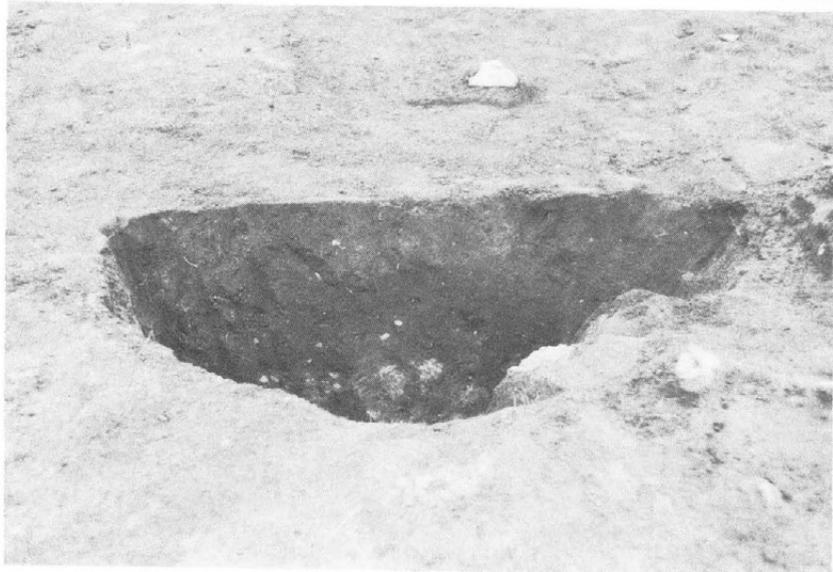
3. 石器



1. 遺跡遠景 (一の沢遺跡より)



2. 土坑1



3. 同断面

あ と が き

茅野市・原村その1・富士見町その2地区の発掘準備は4月中旬から始まった。宿舎となった旧原中学校の日陰には、まだ、残雪がみられる頃であった。新緑の中で徳久利下遺跡から一ノ沢遺跡と富士見町地区内の調査は順調に進んだ。然し、御狩野遺跡に入っては茅野市教育委員会の御尽力にもかかわらず、短期間の雇用、行政区域でも富士見町との境ということで、作業員の方の募集が思うにまかせず、調査団員全員でグリット掘りして終了するという状況であった。

6月に大石遺跡の調査に入ったが、予想外に大きな遺跡であることがわかり、遺構・遺物が続々として確認され、全面発掘に切りかえた。複雑な遺構の切り合いから調査は難行し、調査団の労力不足から測量・記録作業の方が遅々として進まぬ事態となった。後半では休日を返上して遺物処理にあたる等、調査班としても最大限の努力をし、調査団としても、諏訪地区の調査終了後はそちらの作業員の方の応援を頂く体制や予算の流用等対策を講じた。同遺跡の調査を一応終了したのは12月に入ってからである。居沢尾根・塩水両遺跡の本格的調査は次年度へ繰り越されることとなったが、多大な成果をあげて調査を終了できたのは、酷暑の中、また、寒風の中で調査に従事された方々の御蔭である。

よく、八ヶ岳山麓は古代遺跡の宝庫であるといわれてきたが、それが、正に実感として調査に携った者の胸を打った。原村を中心とした今回の調査地区に限ってみると、周辺地域に比較して大規模開発が少なかったため、大きな発掘はなかった。従って、地元の方の発掘成果にかける期待は大きかったといえる。

主な成果をまとめると、御狩野遺跡では土壌1基ではあるが、鉄鐔の出土は貴重な収穫である。現在では神社に伝世されるもののみとなっているが、副葬品とはいえ、私有化されていたことを示し、被葬者の性格・鉄鐔の持っていた意義等興味ある問題を投げかけている。

大石遺跡では縄文時代前期から平安時代後期までの実質57軒の住居と、1,300余基にのぼる土壌を検出している。調査結果については、それぞれの項に詳述されているが、縄文時代中期の集落構造が把握できたことは幸いであった。また、縄文時代前期では、神ノ木式終末期の土器相は有尾式への移行過程を明らかにすることができる。そして、同中期初頭から中葉の土器群も、詳細に検討すれば、従来の編年体系に変更を迫るものもあろう。いずれにしても、一級資料が揃い今後の考古学研究に裨益すること大である。大いに活用して頂きたい。

末尾ながら、調査に御協力頂いた富士見町・茅野市・原村教育委員会・日本道路公団諏訪工事事務所・被買収者組合・関係区長・伊那教育事務所の方々に深甚の謝意を表わしたい。 (大沢和夫)

長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書

一茅野市・原村その1，富士見町その2一

昭和51年3月10日 印刷

昭和51年3月20日 発行

発行者 日本道路公団名古屋建設局
長野県教育委員会

印刷所 松本市筑摩3270
電算印刷株式会社
電話 (25)4329 (代表)
〔非売品〕

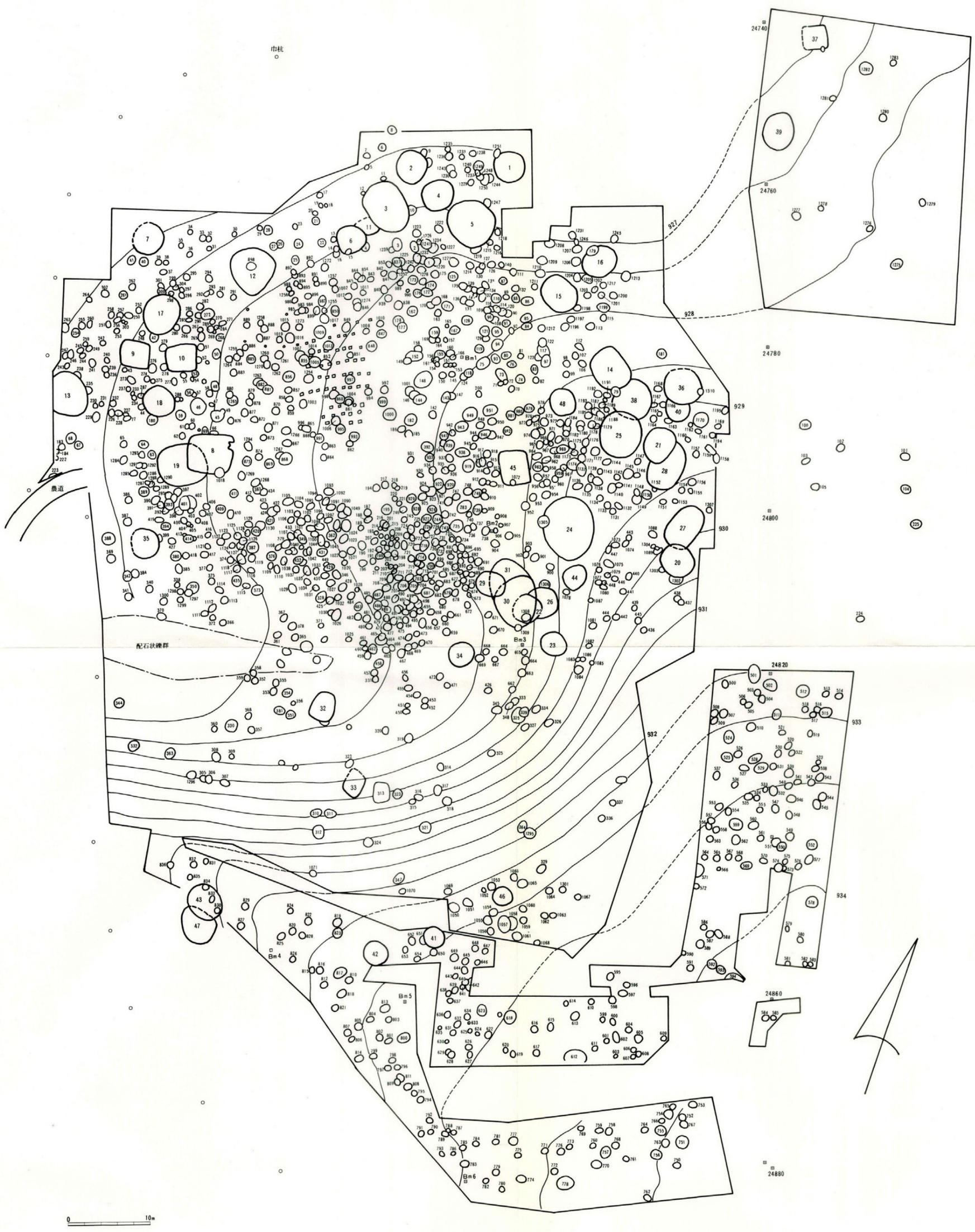
長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書（昭和50年度）

茅野市・原村その1・富士見町その2 付図

付図1 大石遺跡遺構配置図

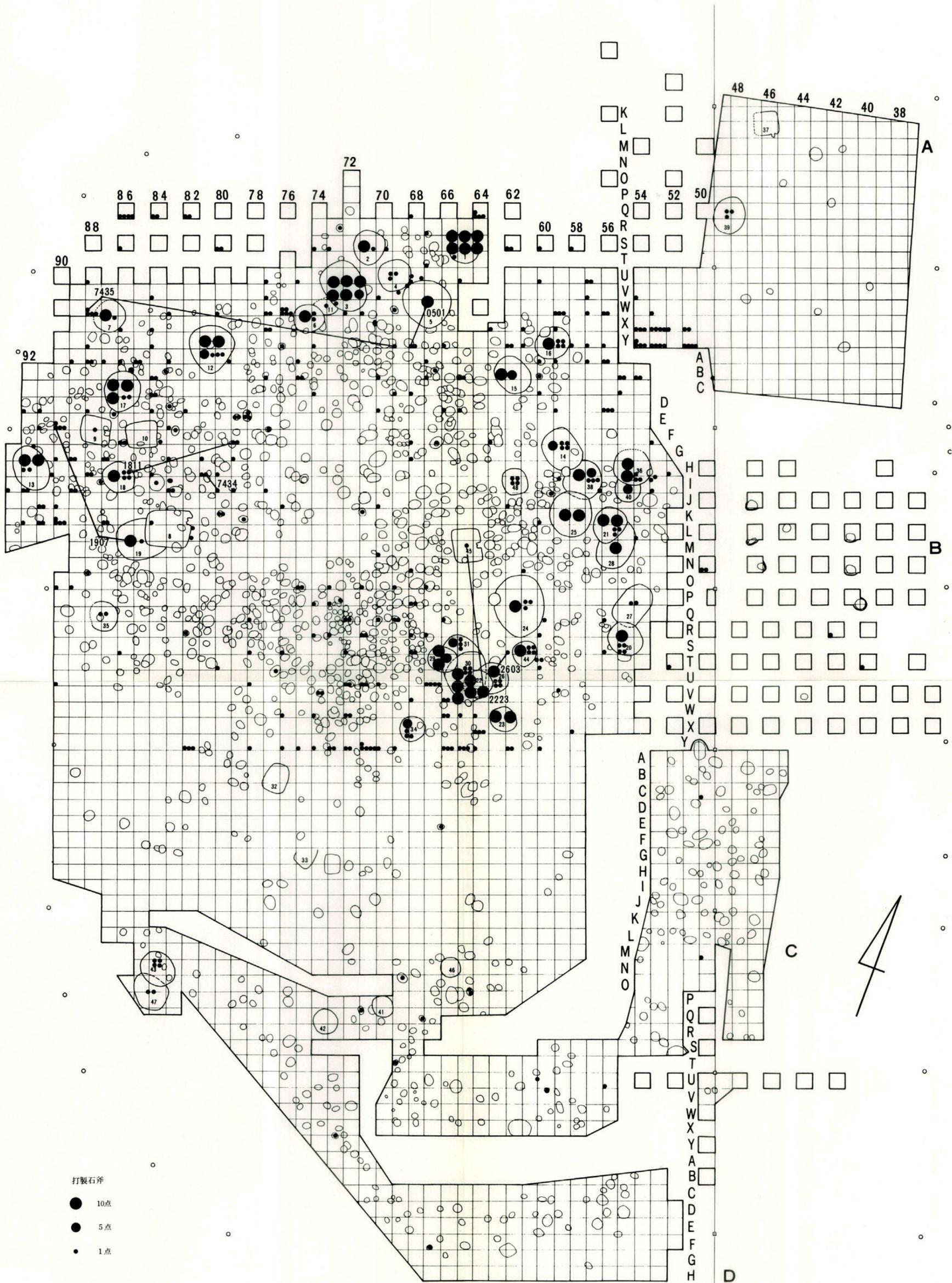
- 〳 2 大石遺跡打製石斧分布図
- 〳 3 大石遺跡凹石・磨石・石皿分布図
- 〳 4 大石遺跡横刃型石器分布図
- 〳 5 大石遺跡小型石器分布図
- 〳 6 大石遺跡磨製石斧分布図





付図1 大石遺跡遺構配置図(1:400) (等高線は漸移層或いはローム面)





打製石斧
 ● 10点
 ● 5点
 ● 1点

付図2 大石遺跡打製石斧分布図(1:400)

